

善意と友情

二十年のわだち

昭和59年4月11日

市原ロータリークラブ

己を磨き、社会へ奉仕する
そんな人達が和となつて

育くみ続けた

善意と友情の二十年を綴る

(画題) ヒマラヤ



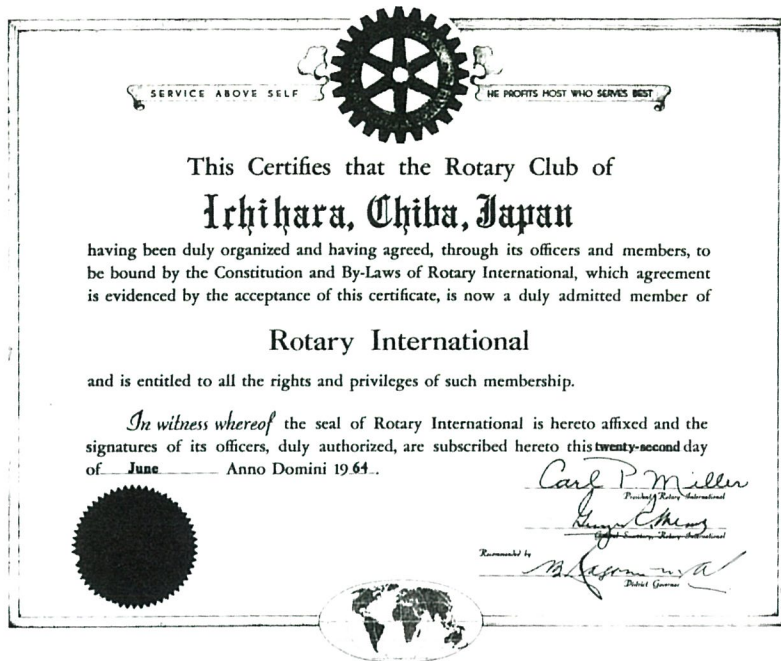
作品は1929年世界漫遊の折のスケッチをもとに、1980年製作されたもの。

古城江観 略歴

明治24年5月生。鹿児島県出身。洋画の黒田清輝に紹介され、現東京芸大福井江亭に入門。早くから日本画を志し大正12年より11ヶ年を費して、東南アジア・印度・エジプト・欧州全土・米国を漫遊しながら各地で個展を開催、絵画の勉強を続け、支那事変・太平洋戦争では従軍画家として活躍。20年前、故郷に記念美術館建設さる。92才の現在も市原市菊間の山荘にて日本画の製作に没頭している。

現在、日本美術家連盟会員、市原RC名誉会員。

市原ロータリークラブ 認証状



市原ロータリークラブ バナー



旧バナー



ペタリングジャヤ 姉妹クラブ バナー



◆ 目 次 ◆

一部

己を磨き 社会へ奉仕する
そんな人達が「和」となって育くみ続けた
善意と友情の二十年を綴る

画 題	ヒ マ ラ ヤ	古城江 観	1
市原 R.C 認証状・バナー			2
市原 R.C 地域限界と会員紹介（折り込み）			3
大会開催に無上の喜び	大会実行委員長	海上 信 久	7
創立二十周年記念誌発刊によせて	市原 R.C 会長	田 丸 章	8
ロータリーの綱領・四つのテスト			9
ロータリークラブの由来			11
市原 R.C の歴史			15
市原市二十年の伸展			18
市原 R.C 二十年の節目			21
市原 R.C 資料			22

二部

懐かしい顔 新しい人
ここに集いて共に喜びたい
市原 RC 二十周年記念行事

市原市へ交通公報車寄贈			23
創立二十周年記念式典次第			24
一創立二十周年を祝して一			
	ガバナー	小 原 美 紀	26
	市原市長	井 原 恒 治	27
	ペタリングジャヤ R.C 会長	ルパート・ゴールドマン	28
	千葉 R.C 会長	坂 本 次 郎	29
	R.C 創立ガバナー特別代表 千葉 R.C	本 部 眞 之	30
表彰者並びに感謝状贈呈者横顔			31
式典アトラクション			33
「特別講演」 市原の古代と現代		菱 田 忠 義	35
来賓ご芳名			40
ペタリングジャヤ R.C 訪問風景			42

三部

第三分区情報研究会			43
一思い出一			
	第 6 代会長の思い出	酒 枝 次 郎	44

会長時代を顧みて	齊藤 博	45
姉妹クラブ P.J.R.C と締結	小出 善三郎	46
市原 R.C 「のんべ」 番付表	上 條 優 雄	48
懐しの幹事時代	三 木 敏 靖	54
20周年を顧みて	川 上 一 之	55
まかり間違っても会長に	外 山 定 利	56
親睦会思い出数々	荒 井 太 郎	57
1980～'81 幹事時代の思い出	山 田 守	59
“会 報” におもう	佐 藤 勇	60
小さい私の軌跡	時 田 謙 祐	61
創立のころ	石 福 優	63
インターアクトクラブ年次大会の思い出	麻 生 駿 一	64
インターアクトの顧問として ー雑感ー	高 梨 美 喜 男	65
マレーシアの高校生を迎えて	三 林 京 子	67
太平洋を越えて	白 鳥 真 理	68
市原 R.C 沿革史		70
ー活躍委員会報告ー		
インターアクト委員会		82
社会奉仕委員会		86
国際奉仕委員会		87
ロータリー財団, 米山奨学会寄付		90
会員増強・出席・ニコニコBOX収入		91
職業奉仕委員会		92
ロータリー財団		108
米山記念奨学制度		109
青少年交換学生		109
I.A 青少年交換学生		109
姉妹クラブ		111
物故会員を偲ぶ		113
現会員委員会所属一覧表		114
市原 R.C 会員紹介		116
20周年記念委員会組織図		127
20周年記念大会協賛会社		128
編集後記		129

大会開催に無上の喜び

20年で人口は2倍 市予算は13倍の市原

大会実行委員長 海 上 信 久



当市原市は昭和38年5月五井、市原、姉崎、三和、市津の旧5町村が合併して市制が施行され県内第19番目の市として誕生したがその後昭和42年には更に内陸部の南総、加茂の二町村を編入して一郡一市となり行政面積367㎢という広域都市となった。当時の人口は12万7千人で財政規模は約38億であったが20年後の現在は人口23万、予算規模も約498億（59年1月現在）と驚異的な伸長を示している。遡って昭和32年臨海部の埋立造成が始まり、34年頃より大企業が逐次操業を開始し、京葉臨海工業の全面的稼動により市外県外からの労働人口の流入が急増したもので、従来の農漁村型から工業都市へと産業構造が大きく変って来たのである。

この様な急激な膨張をはらんでいる市の情勢の中で昭和39年6月創立認承されたのが当市原R.C.であるが、これらの経緯から会員の構成も三分の一以上が企業関係の会員であり、学識経験豊かで国際性に富んでいるこれら会員も転任時期が予測されない為に会長、幹事に推せんすることに躊躇せざるを得ない実状で人事面では尠からず巾が狭められているが、反面広い視野を持つ企業関係会員から卓話等を通じて啓発される所も少くなかった。或る時期、地元と企業が公害問題等も含めて行政を離れて相互理解を深める場として例会が役立った事もあったが、これらは何れも当クラブの特異性であると思う。

昭和49年当クラブの創立10周年記念事業の一環としてマレーシアのペタリングジャッククラブと姉妹クラブの締結を行いその後相互に何回か親善訪問を行って交流を深めて来たが、昨年6月青少年交換について両クラブ協議の結果隔年毎に数名のインターアクトの生徒を短期間交換する事に決定し、先ず昨年12月から本年1月に掛けて約1ヶ月5名の生徒を受け入れて一応の成果を挙げ得たものと信じているが、今後この交換が続いて行くと何年か後には両クラブ間に素晴らしい親善の実が結ばれる事と思う。

本日茲に20周年の記念式典を行う事の出来た事は、歴代の地区ガバナーの御指導とスポンサーの千葉クラブを始め、分区各クラブの友情によるものと深く感謝申し上げます。特にロータリー経験の無い29名のチャーターメンバーの手を執って懇切な御指導を賜わり今日の基礎を築いて頂いた本部真之特別代表に心からお礼を申上げる次第である。

創立 20 周年記念誌発刊によせて

会長 田 丸 章



昭和39年 6 月当クラブ創立以来20年の歳月を経し歴代会長並に会員の真摯な御努力により今日の発展を来し、今茲に20周年を記念して記念の行事をとり行い且つ記念誌を刊行して諸先輩の積み重ねられた尊い体験と輝かしい成果をしのび、私共之からの前進を期するよすがにさせていただきたいと念じて居る次第であります。

由来このクラブは純朴温和な市原地域古来の方々と新に転入された企業の工場長さん方とで構成され、夫々の立場と歴史的特殊性とを考慮しつつロータリー綱領に掲げられた奉仕の精神を基調として職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕の共通目標にお互の理解を深め渾然一体となって今日の立派なクラブに育くんであつた先輩皆さんに満腔の感謝を捧げるものであります。

然るに私共のロータリー運動の歯車は一日一時の停滞を許されず常に理想への前進に努力を傾注いたさなければなりません。今先輩の歩んだ道を謙虚に学び新しい時の流れを勇敢に把握して世界の同志と手をたずさえ人類永遠の平和に貢献することを誓いたいと存じます。

終りにこの記念誌の企画、編輯に当られた委員長並関係の方々の文字通り献身的な御奉仕の御苦勞に対し又稿をよせられた皆さんに心から感謝申上まして発刊の言葉といたします。

ロータリーの綱領

ロータリーの綱領は有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹育成すること。

1. 奉仕の機会として知り合いを拓めること。
2. 実業及び専門職業の道徳的水準を高めること。あらゆる有用な職業は尊重されるべきであるという認識を深めること。そしてロータリアン各自が、職業を通じて社会に奉仕するために、その職業を品位あらしめること。
3. ロータリアンすべてが、その個人生活、職業生活及び社会生活に常に奉仕の理想を適用すること。
4. 奉仕の理想に結ばれた実業人と専門職業人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること。

四つのテスト

(言行はこれに照らしてから)

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

ロータリークラブの由来

ロータリーの誕生

1870年、シカゴは大火に見舞われ、更に万国博覧会後の経済恐慌で人心は荒れずさみ、街は悪臭に満ちて「悪魔と腐敗の街」というレッテルが貼られ、そこに住む人々はお互に喰うか喰われるか、生きるか死ぬかで仇敵のように闘い合っていた。

シカゴに弁護士を開いていた青年ポール・ハリスは、当時の不安定な世相と、又、移住者としての寂しさを身にしみて感じ、何でも語り合える友が欲しいと願っていた。同じ時代に同じ所に住む人々が互に助け合い、且つ励まし合ったら明るい街、明朗な社会、平和な国が出来るだろうと考え、この1905年2月23日、友人の石炭商シルベルスター・シュレー、鉱山技師ガスター・ロール、裁縫師のハイラム・ショウリー等に打明け、一つのクラブを作ることに同意を得、翌日、更に印刷屋のハリー・ラップルにも賛同を求め、土地周旋屋のウィル・ジェンソンも加わることになり、シュレーの事務所を会合に使うことにして、彼を会長とし、ジェンソンが連絡係、ショウリーが記録係をして、ラップルが会計係となって、ともかくクラブの形が出来上った。

時にポール・ハリスは37才であった。彼自身は2年間会長になることを遠慮していた。この6人は、いずれも故郷を離れてシカゴ市へ移住して来た見知らぬ者同志であったが、常に故郷を想い、友情にうえていたため、このクラブも最初は唯々友情を深くしてお互にその仕事を助け合おうというのが目的であった。クラブの名前もいろいろ考えられたが、ポール・ハリスの発案で、この会合が各自の事務所を持ち回りで使うという特徴をとらえて、ロータリーと名付けた。

1907年にポール・ハリスが会長に就任した時始めて、これと同じクラブを他の都市にも作りたいという願望を持ち、その結果、1908年、サンフランシスコにロータリークラブが出来た。そして更に翌年、オークランドにクラブが生れたが、このクラブが今のような規則正しく週一回の昼食会を始めたのである。続いて、シアトル、ロスアンゼルス、更にニューヨーク、ボストンにも誕生した。マークの車輪も、いろいろな形のものが用いられたが、1912年に現在のデザインのものが決定された。

1910年8月、当時のクラブ数は16、会員数は1,500名であったが、シカゴのコングレスホテルに14のクラブの代表者が集まって全米連合会を作り、ロータリークラブの目的と

して、次の項目が決定された。

- 1) 新しいクラブを作っていくこと。
- 2) クラブの活動を増進すること。
- 3) 市民としての誇りと真実とを堅持すること。
- 4) 事業の経営を道徳的に向上すること。
- 5) 会員の利益を増進すること。

この連合会初代会長にポール・ハリスが就任し、事務所は幹事のペリーの事務所のあったカルメットビルに置かれ、ここが後に長くロータリーの本部となった。

かくして、現在のロータリークラブの母体が出来上ったのである。

国際ロータリーの結成

この政治性のない“奉仕”をモットーとしたクラブは、お互に広く接するに従い自分の住む町の事情に精通し、意見交換の機会ともなり、友人の増加するに従い、遂に国境を越え1910年、カナダのウィニペッグにクラブが生まれ、翌1911年には海を渡って英国のロンドン、アイルランドのダブリンとベルファストにクラブが出来た。

この年のポートランドの大会に於て、シカゴクラブのアーサー・フレデリック・シェルドンの演説によって

He profits most who serves best.

という言葉が生まれ、且つ又、ミネアポリスクラブのフランク・コリンズによって、

Service not self.

後に、Service above self.

と変ったが、この格言が生まれ、この二つが非公式ではあったが、一般によく知られたロータリーのモットーとなったのである。

1912年、ドルースに於ける大会では41クラブの代表者が出席し、ロータリークラブ国際連合会(The International Association of Rotary Clubs.)が出来てポール・ハリスがその会長となったが、当時のクラブ数約50、会員数は約5,000人だった。

1914年、第一次世界大戦が勃発し、ヨーロッパに於けるクラブの設立は途絶えたが、今度は西へ延びて太平洋を渡り、ハワイのホノルル、キューバのハバナにも生まれた。

1917年、アメリカも大戦に参加したがこの年始めてアメリカ人以外のカナダ人のレスリー・ビジョンがロータリークラブ国際連合会の会長となった。

1919年、大戦が終結するとロータリーは新しい息吹を以て、マニラ、上海、カルカッタに新クラブが設立され、1920年に初めて日本の東京に設立された。又、パナマ、ブエノスアイレス、マドリッドに生まれ、1921年にアフリカのヨハネスブルグ、オーストラリアのメルボルン、パリにも生まれ、世界の六大陸全部に設立を見た。

1921年、大会決議を以て、正式名称を国際ロータリー（Rotary International）と改正し、現在に至っている。

今年10月末の世界のクラブ数、会員数は次の通りである。

国 数	158ヶ国
クラブ数	20,330 RC
会員数	929,250 人

我が国のロータリー

1912年、テキサス州ダラスにいた三井綿花会社の社長、福島喜三次氏は、ダラスロータリークラブのメンバーであったライリウム氏というドイツ人と親交があり、時折り、ロータリーの話をして一緒に出席してみないかと誘われたこともあり、ロータリーに関する関心を持っていたところ、世界大戦が始まり、ウィリアム氏が帰国したので、その後、ダラスロータリークラブのメンバーになった。

1918年、三井銀行の役員をしていた米山梅吉氏がアメリカに行かれた時、各地のロータリークラブを視察して日本に帰ったが、その後、福島氏は日本に帰ることになり、クラブで彼の送別会を開いてくれて、帰ったら是非日本にもロータリークラブを作るように激励された。

1920年、米山梅吉氏と相談の上、10月、初めて日本に仮ロータリークラブが設立され、

1921年4月1日、会員24名による東京ロータリークラブがR Iの加盟承認登録855号を受けた。

東京に生まれたロータリークラブの運動に国内各地に共鳴者が生まれ、1922年11月に大阪クラブ（登録1349）、1925年に神戸、次いで名古屋、京都、1927年に横浜、京城、大連、奉天、ハルピン、1931年に台北クラブが生まれた。

ところが、日支事変から太平洋戦争に突入するという気運が高まり、この為国際上日本に対する圧迫は日増しに激しくなり、遂に昭和15年9月、日本のロータリークラブは国際ロータリーから脱退を余儀なくされるに至った。しかし、たとえ国際ロータリーを脱退し

たとはいえ、ロータリーの持つ精神と組織は依然として継承されて、あの熾烈な戦争体制下にあっても従来通りに毎週例会を開き、その伝統だけは守り続けてきたのである。

終戦後、漸く治安の定まるに従い、国際ロータリー理事会は日本及びドイツのロータリー復帰を決議し、敗戦日本が思いがけなく、宗教団体を除く他の世界的団体に先がけてこの国際機関に正式加入を許されたことは、誠に意義深いことであった。時に1949年（昭和24年）のことであった。

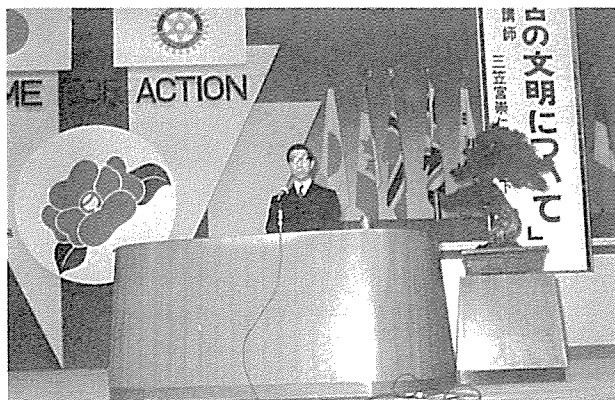
かくして、本部よりジョン・R・ミーンズ氏が派遣され、熱心な援助により同年3月東京ロータリークラブを始めとし、京都、大阪、名古屋、福岡、札幌と相次いで復帰し、満9年の空白時代の後、上記クラブを以て第60地区と指定され、再び国際ロータリーの一員に加えられるに至ったのである。

其後、戦前にも増して次々に復帰、新設により本年10月末日現在のクラブ数、会員数は次の如く盛況を極めるに至った。

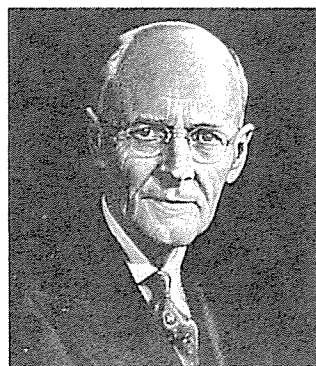
クラブ数 1,595RC

会員数 90,418人

尚、1967～68年度、東京ロータリークラブの東ヶ崎潔氏が、1982～83年度、大分県の中津ロータリークラブの向笠広次氏が日本人としての国際ロータリーの会長に選ばれたことは記憶に新しく、日本のロータリーが世界に高く評価されたものである。



1973. 3. 10 木更津市内で開催の第349地区
年次大会で記念講演された地区名誉ガバナーの
三笠宮殿下



国際ロータリークラブ創設者
ポール・ハリス

—— 市原ロータリークラブの歴史 ——

1964～'69年

1964. 6. 13 五井の白山閣で会員29名で創立。

市原ライオンズクラブは10月24日創立。

市原ロータリーの創立にあたっては、千葉ロータリーの本部真之氏が特別代表として懇切なる指導を頂いた。

当時地区ガバナーは、横浜の長沼氏であった。すなわち地区制もかなり大きな地区割でそれなりに厳格な運営であった。

創立半年後の'65年3月チャーターナイトの伝達式を五井中学講堂で実施。400人近い大パーティであった。

創立当時の活動には会員相互の親睦に重点が置かれ、この傾向は5～6年続いた。それは創立当初であったからということは何論であるが、誘致・進出した企業と地元とが理解を図る時代背景もあったと思われる。当時はまたメンバーが皆協力的でやる気にあふれ企業側メンバーも非常に積極的であった。

創立間もない時代であり、いわばロータリーの建設時代で皆さん燃えていた。またロータリーの運営もきまり通りの真面目なものであった。

当時はロータリーの入会希望も多かったが、入会審査が厳しく、なかなか入れなかった。

1969～'74年

'69年6月25日 創立5周年記念式典（出光会館）

親睦による内部固めから外へ向っての活動を展開しようとする転換時期にあたる。

'69年は5周年記念が終り親睦行事が盛大に行なわれたため赤字を計上（例会で木更津甚句を練習したのもこの頃であった。）

'70年頃の記録によると当時の例会食費は通常400円、粗食300円であった

'64～'65
宮吉会長
小倉幹事

'65～'66
宮吉会長
伊藤幹事

'66～'67
浜田会長
関 幹事

'67～'68
小倉会長
小池幹事

'68～'69
切替卿会長
石福幹事

'69～'70
酒枝会長
小出幹事

'70～'71
関 会長
切替幹事

この頃スコットランドから交換研究生（社会人）が来日、市原に滞在した。当時の研究生の1人が再来日し現在国際キリスト教大学に勤めているそうである。

（スコットランドのロータリーでは旧敵国との研究生交換には反対の意見も多かったとの引卒ガバナーの話である。）

’71年～’72年に市原ロータリークラブの定款・細則を作成した。

’73年頃はインターアクトの活動が低調になっていたもので、京葉高校に協力を依頼しインターアクト委員長は当時毎週のようにクラブのある日には学校を訪れ、育成に努めその結果再び活動は活発し、現在へつながれている。

（例会での会長挨拶が始まったのは’69年頃からであった。）

1974～’79年

’74年5月25日 創立10周年記念式典（出光会館）

この頃からは外国との交流も活発化している。

’74～’75年にかけてマレーシアのペタリングジャヤ・ロータリークラブとの提携を進めた。

ロータリーが姉妹関係を結ぶのは欧米以外は韓国・台湾ぐらいであるが、他のアジアの国にも目を向け、政情も安定しているマレーシアということで調査したところ、ペタリングジャヤが市原と非常に似ていることがわかった。（工場が進出中で新興住宅も増えている。クアラルンプール（大都市）に近接している。） たまたま石丸会員の知人のつてもあり話が進んだものである。（その後マレーシアで日本赤軍事件が発生した。） この期間にはフィリピンへのレントゲン車の寄贈、袖ヶ浦ロータリーと提携しての養護学校への寄付（プール建設のため）、米国、オーストラリアからのインターアクトの受入、第2回のペタリングジャヤ訪問、ペタリングジャヤからの来日などがあった。

市原ロータリークラブがICGFのホストクラブを勤めるという名誉を受け持ったのもこの期間初期の’75～’76年の頃であった。

’74～’75

小出会長
稲毛幹事

’75～’76

切替庵会長
外山幹事

’76～’77

石川会長
金坂幹事

’77～’78

菊地会長
麻雄幹事

’78～’79

寺嶋会長
清水幹事

石丸さんの財
団功労者表彰

珍しい記録として、'77～'78の菊池会長が会長職に費した時間313時間というのがある。

例会の運営形式が現在のようなものに決まったのもこの時期末期からである。

1979～'83年

現在と言っていい時期である。

インターアクト交流、ペタリングジャヤ訪問などの国際交流も着実に行ない、国際ロータリー75周年記念事業として交通安全塔の建設を行った（80）

麻薙会長の国際理解週間論文が入賞したのもこの時期であった。

古城先生宅での梅見などを初め種々の親睦行事、なごやかに行なわれ現在に至っている。

ロータリーの活動は役員をはじめ各メンバーの協力と献身に負うものであり、国際交流問題など今後充実していく上で難しい問題もなくはないが、皆で考え協力して行こう。

市原市医師会
年中無休診療
で医師会表彰

'79～'80
外山会長
三木幹事

'80～'81
斉藤会長
山田幹事

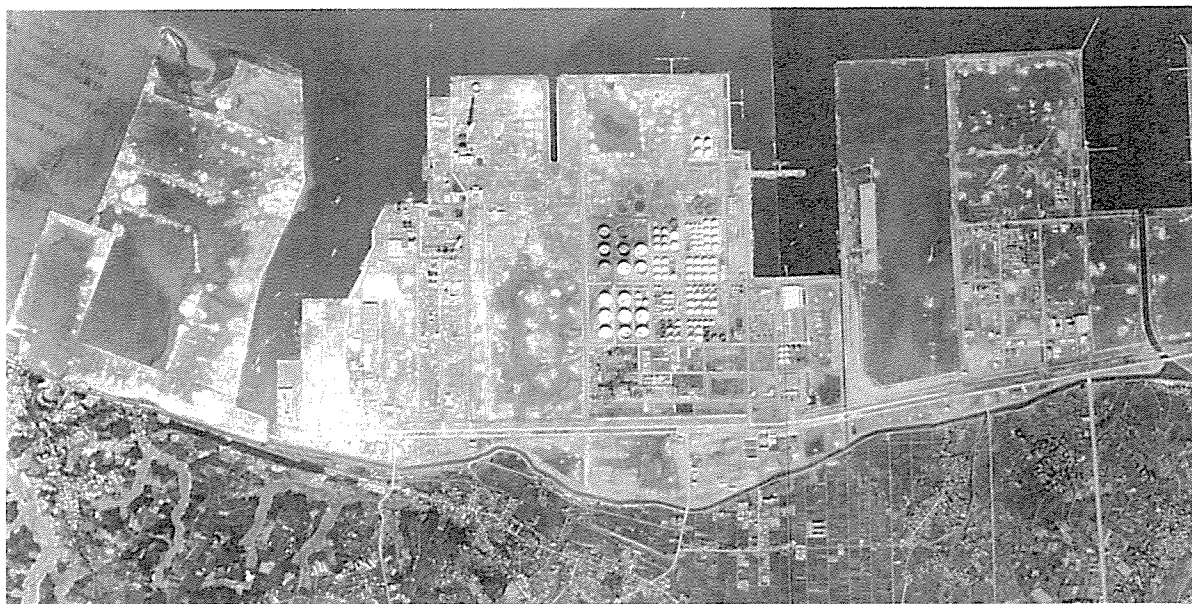
'81～'82
麻薙会長
上條幹事

'82～'83
海上会長
大野幹事

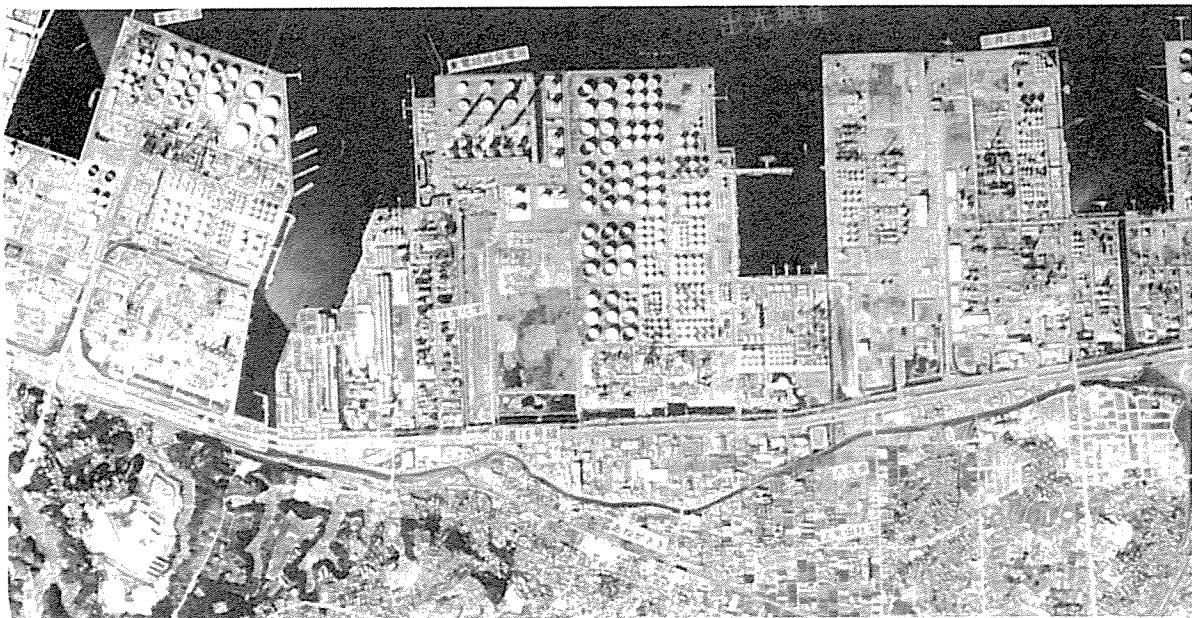


市原地区の特長である京葉コンビナートの内、出光興産株を見学する地区のインターアクトたち。

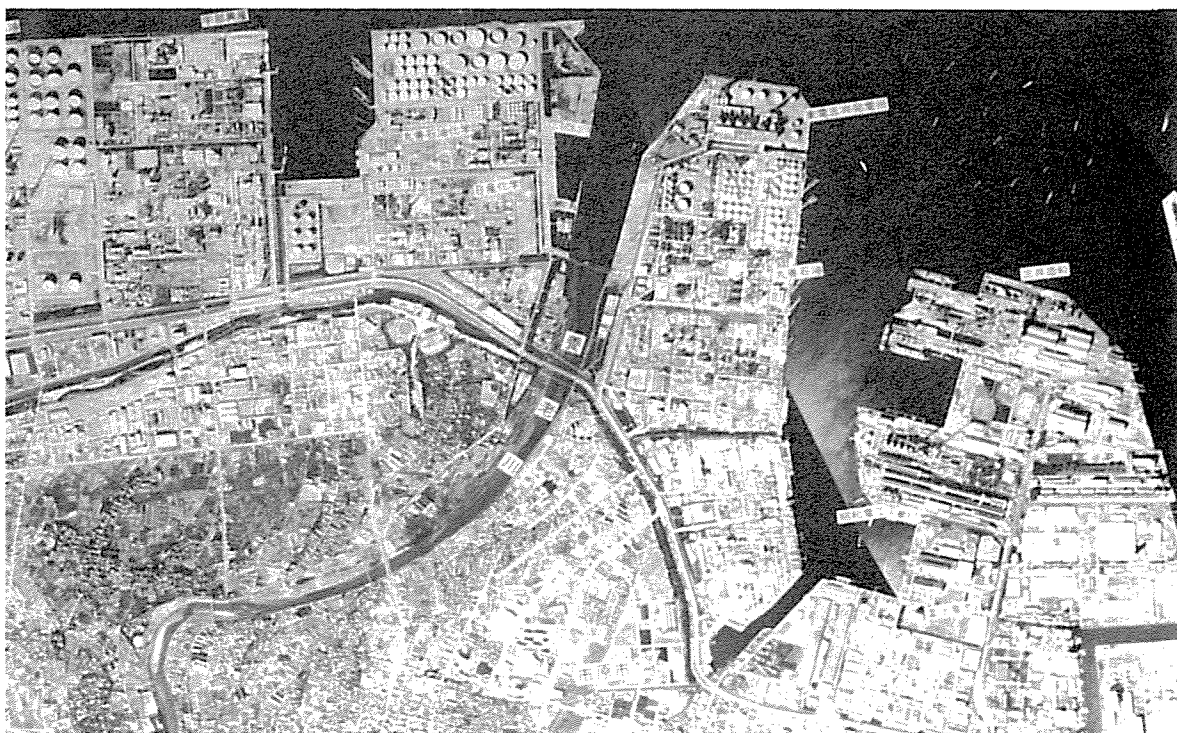
市原市二十年の伸展 変容した海岸地帯

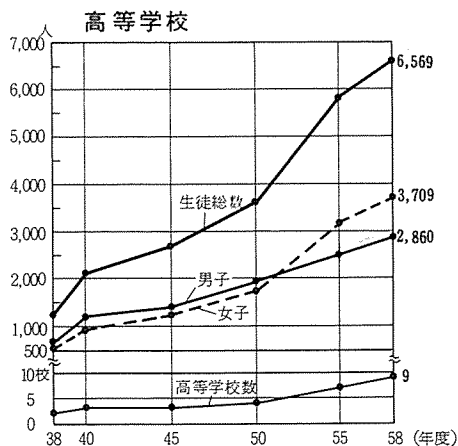
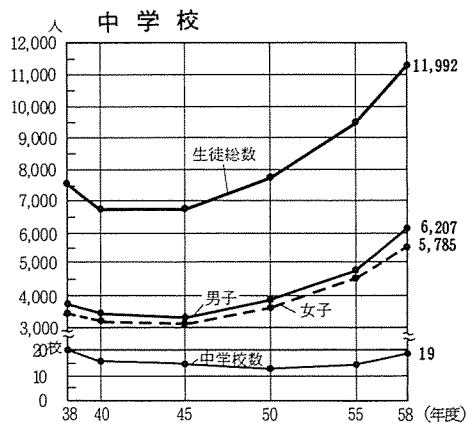
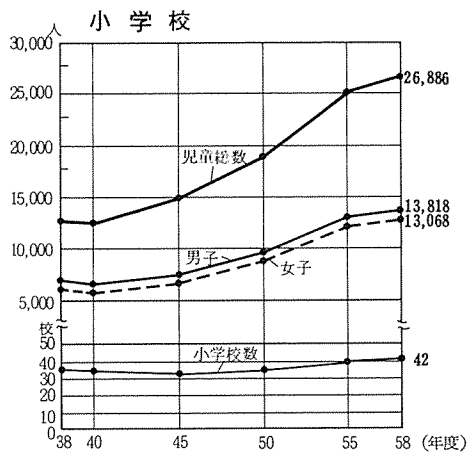
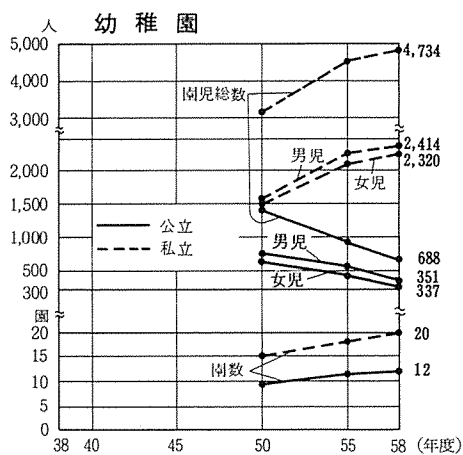
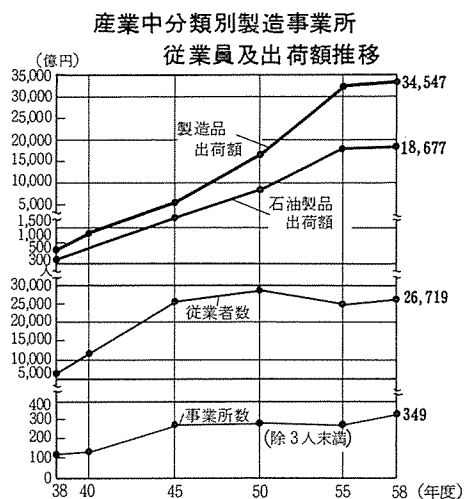
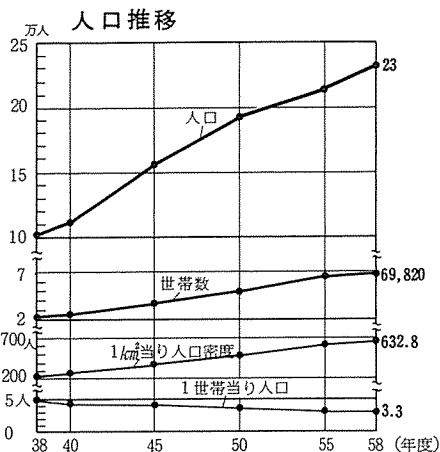


市原市は30年前まで、海苔・蛤・わたり蟹のよくとれる遠浅の海岸をもっていた。石油化学コンビナート誘致の為埋立が略完了した昭和40年に撮影した俯瞰図である。（上下共出光興産㈱提供）



上図から18年後、海岸地帯は、日本はおろか世界有数の石油化学コンビナートに変容した。人口23万3400人となり、新旧住民一体となって21世紀に向って力強い息吹きをあげている。





市原ロータリークラブ二十年の節目

市原ロータリークラブ認証状伝達式
於 出光会館 1965.3.27



五周年記念アトラクション



楽しく奥様同伴で！

十周年記念講演
永世王将 大山康晴先生
於 出光会館



’75～’76 年度インターシティ
ゼネラルフォーラム
市原R.Cホスト 於 千葉銀行本店



’83～’84 年度 第三分区情報研究会“手に手つないで”
市原R.Cホスト 於 ニューパークホテル

市 原 R.C 資 料

- | | | |
|------------------|---|---|
| 1. 区 | 域 | 市原市全域 |
| 2. 創 | 立 | 1964年6月13日 ところ 白山閣 |
| 3. チャーターメンバー | | 29名 |
| 4. 承 | 認 | 1964年6月22日 |
| 5. 認 証 R . I 会 長 | | 1963～1964 Carl R, Miller |
| 6. 認 証 時 ガ バ ナ ー | | 永 沼 政 久 |
| 7. スポンサークラブ | | 千葉R.C |
| 8. 特 別 代 表 | | 本 部 眞 之 |
| 9. 認 証 式 典 | | 1965年3月27日 ところ 五井中体育館 |
| 10. 例 会 場 | | 市原市姉崎 584 姉崎ロイヤルホテル |
| 11. 例 会 日 時 | | 毎水曜日 12：30 ～ 13：30 |
| 12. 事 務 所 | | 市原市姉崎 584 姉崎ロイヤルホテル |
| 13. 現 会 員 数 | | 56名（1984年2月29日現在） |
| 14. 理 事 会 | | 毎月第1水曜日 定期理事会 |
| 15. ポールファリスフェロー | | 17名（1984年2月29日現在） |
| 16. 準ポールファリスフェロー | | 6名（1984年2月29日現在） |
| 17. ロータリー財団寄附達成率 | | 4200％（1984年2月29日現在） |
| 18. 米 山 功 労 者 | | 1名（1984年2月29日現在） |
| 19. 姉 妹 ク ラ ブ | | マレーシア共和国 ペタリングジャヤR.C
姉妹関係協定書締結日 1975年6月10日 |

懐かしい顔

新しい人

ここに集いて共に喜びたい

市原RC二十周年記念式典

二十周年記念事業

市原市へ交通公報車寄贈



市原ロータリークラブより市原市へ寄贈
された市原警察使用の交通パトロール車

創立20周年記念式典次第

1984年4月11日(水) 於 出光会館

＜第一部＞ 式 典 (敬称略)

◆ 登 録 (11:30)

◆ 記念例会 (12:30)	司会 S.A.A	上 條 優 雄
点鐘	会 長	田 丸 章
国家斉唱「君が代」	エレクトーン	中 里 洋 子
ロータリーソング「奉仕の理想」	エレクトーン	中 里 洋 子
会長挨拶	会 長	田 丸 章

◆ 式 典 (12:40)	司会 幹 事	夏 井 祐 輔
開式の言葉	副 会 長	大 西 英 一
来賓紹介	親 睦 委 員 長	藤 谷 実
物故会員に対して黙禱	パ ス ト 会 長	外 山 定 利
式典委員長挨拶	記念式典委員長	海 上 信 久
記念事業発表	"	海 上 信 久
記念事業目録贈呈	会 長	田 丸 章
表彰並びに感謝状贈呈	会 長	田 丸 章
特別代表感謝状贈呈	スポンサークラブ 千葉 R.C 会長	坂 本 次 郎
チャーターメンバー表彰(現会員)		古 城 江 観
		小 熊 禎 一
		川 上 一 之
		酒 枝 次 郎
		石 福 優

交換学生引受校感謝状贈呈

千葉県立京葉高等学校
千葉県立緑高等学校

交換学生引受家族感謝状贈呈	井 尻 当 之 穴 倉 健一郎
事務局員表彰	広 瀬 正 子

◆来賓祝辞

第 279地区ガバナー	小 原 美 紀
市 原 市 長	井 原 恒 治
マレーシア、ペタリングジャヤ R. C 代 表	ルパード・ ゴールドマン
パ ス ト ガ バ ナ ー	青 山 幸 高
スポンサークラブ代表 千 葉 ク ラ ブ 会 長	坂 本 次 郎

祝電被露 司会 夏 井 祐 輔

◆記念講演 (13:50)

記念講演者紹介	パ ス ト 会 長 海 上 信 久
「市原市の古代と現代」	千葉県文化財保護審議会委員 菱 田 忠 義

◆閉会の言葉 (14:40) 副 会 長 山 崎 邦 夫

◆点 鐘 (14:45) 会 長 田 丸 章
(諸事おしらせ) 郡 司 元 靖

《 第 二 部 》 祝 賀 会

◆祝 宴 (15:00)	司会	パ ス ト 会 長 切 替 章 敬
開会の言葉	パ ス ト 会 長	齊 藤 博
祝辞	パストガバナー	岡 野 正 雄
乾杯	パストガバナー	鈴 木 憲 輔
アトラクション「東京踊り、ザ・レビュー'84」		S . K . D
ロータリーソング「手に手つないで」	エレクトーン	中 里 洋 子
閉会の言葉	副 会 長	大 西 英 一

◆閉 会 (16:20)

創立二十周年を祝して

お 祝 の 言 葉

ガバナー 小 原 美 紀



貴クラブの20周年記念に際し、私とその年度のガバナーとしてお祝詞を申し上げることは、私にとりましてまことに光栄なことでございます。

20年という歳月は決して短いものではありません。貴クラブが誕生した頃の日本は、未だ経済的にも高度成長を遂げておらず、国際的地位も決して上位ではなかったのであります。ヨーロッパでも少し大都市を離れると、日本に関する認識は殆んど零だったというのが実情でした。それがこの20年の間に、日本は世界の経済大国になり、殊に千葉県は永い間の後進性を脱却して、一躍工業県におどり出て人口も遂に500万を超える先進県に変貌したのであります。これだけ大きな変化を遂げた県は日本の中でもあまり例がありません。

貴クラブはこの変動期に着実に発展を遂げられたのであります。刻々と変る時代の推移をよく見極めてそれに対応するクラブの発展に努力された先輩クラブ会員の叡知とご努力に対し深甚の敬意を表する次第であります。とかく経済の高度成長期に入ると金や物に対する偏重思想が横溢し、精神面は軽視されてロータリー運動は極めてやりにくいのが実情であります。殊に高度成長が頂点に達しやがて景気が下り坂になった頃から、社会的に幾多の歪みが現われてまいりました。繁栄に馴れてきた人々の間に混乱が生じ幾多の反社会的行動が生じるようになりました。この社会現象の中で“人間にとって大切なのは、金や物ではなく心である”ことを説いて、ゆがんだ社会を正常なものに戻す活動を続けられたのが貴クラブの諸先輩の方たちでした。まことに良い伝統を築かれました。

市原にロータリークラブが厳として存在することにより社会の健全化が保たれたのであります。貴クラブは市原地域社会の精神的中核の役割を果たしてこられたのであります。

20周年を単なる回顧的なものとせずこれからの20年に向って更に堅実に進んでいかれることを祈念いたします。20年後は21世紀に入っております。堅実に歩んでこられたクラブの輝やかなしいバトンを次代の方たちに渡さなければなりません。一瞬でも停滞があっては良いバトンタッチはできません。20周年を祝われると同時にこのことを十分胸にしてご努力されますよう切望してやみません。

20周年ほんとうにお目出度うございます。蕪辞をもってご祝詞といたします。

創立20周年 おめでとう

市原市長 井 原 恒 治



市原ロータリークラブ創立20周年 おめでとうございます。

当ロータリークラブは昭和39年6月22日に国際ロータリーから認証されましてから20年の歳月を経られたのであります。

この間、歴代会長をはじめ関係各位の並々ならぬご労苦により極めて順調な発展を遂げられ、奉仕の理想に基づいて業界各界の連けいを保ちながら、個人生活、社会生活を通じて、奉仕と徳義の交わりを結び、ひいては国際間の親善を深められ、現在では56名の会員を擁し、当地区に確固たる基盤を築いておられますことは、誠に慶祝に耐えないところでございます。

本市各界のトップクラスによって結成された当クラブの各位には、常に市のため市民のために暖かい心づかいをもって社会福祉、青少年の健全育成、文化の高揚等々各般にわたり絶大なる奉仕活動を賜り、誠に有難くここに深甚なる謝意を表するものであります。

本市も皆様の暖かいご支援、ご協力により市制施行以来順調な発展を続け、昨年で20周年を迎えたところでございます。私はこの記念すべき年に、限りない可能性を秘めたふるさと“市原”の未来に向けて市原市長期総合計画を策定し、本年より21世紀への新しいスタートを切ったのであります。

私は、この計画での都市づくりの基本理念を「愛」と「躍動」に置き施策を推進する所存でございます。

特に「愛」は当クラブの「奉仕」の理想とも一致するものと考えます。

人間社会は相互依存と理解から成り立っております。己を知り、人を知り、地域社会を知り、市民一人ひとりが役割と責任を分かちあい、慈くしみあう心が「愛」を育てるのであります。わたくしたちは、日々の生活の中で「愛」と「奉仕」の精神をもって行動し生きることのできるまちを目指さなければなりません。

私は以上の理念に基づき、市民の幸せと本市のたゆみない発展に向けて全力を傾注する所存でございますので各位の一層のご支援、ご協力を切にお願い申し上げます。

終りに、会員各位のご健勝と市原ロータリークラブの益々の発展を祈念いたしまして私のお祝いのことばといたします。

創立二十周年おめでとう

February 6, 1984

P. J.R.C 会長 ルパート・ゴールドマン

President A Tamaru
Rotary Club of Ichihara
Anesaki Royal Hotel
584 Anesaki
Ichihara, Chiba 299-01
Japan



Dear President Tamaru

1984年2月6日

On behalf of the members of the Rotary Club of Petaling Jaya I would like to extend to you and your members our warmest greetings and also our heartiest congratulations on the celebration of your club's 20th anniversary.

For 20 years, your members have placed service above self and your club must be commended for your true dedication to Rotary. I sincerely hope that through Rotary we can some day make this a better world to live in.

You have demonstrated your desire to build better understanding and friendship among the people of the world by inviting us to visit your club and we will be there in early April to share Rotary with you. Until then, May I wish your club continued success in your endeavour to serve mankind.

Yours in Rotary

(Rupert Goldman)
President

Rotary Club of Petaling Jaya

RG/jl

市原ロータリークラブ

会長 田 丸 章 殿

ペタリングジャヤロータリークラブを代表して、貴クラブ創立20周年記念に対し、心よりお祝いを申し上げます。

この20年間、貴クラブの会員の方々は、自我を忘れて奉仕の精神に徹し、ロータリーの発展に貢献されてきたことは、大いに賞賛されるべきことです。ロータリーを通じてより住みよい世界が出来ることを切に望む次第です。

またこの度は、理解と友情を深めるべく我々をお招きいただきましてありがとうございます。4月はじめには、喜んで訪日します。

その時まで、貴クラブが人類に奉仕して成功をおさめられますよう心よりお祈りしています。

ペタリングジャヤロータリークラブ

会長 ルパート・ゴールドマン

市原ロータリークラブ20周年を 祝して

千葉ロータリークラブ

会長 坂 本 次 郎



今般市原ロータリークラブには20周年をお迎えになりましたこと誠にお目でございます。

思えば昭和39年6月13日設立に際しましてはスポンサークラブの千葉ロータリークラブよりロータリーにご造詣の深い本部真之会員が特別代表として参加され立派にご誕生されてから早や20年を迎えることが出来ました。私は姉崎のロイヤルホテルに何回かメーキャップさせて頂きましたが、会員の皆さま方の心こもれるご接待に接し誠に心あたまる感を抱きいまなお思い出に残っております。皆さま会員の方々がロータリーの本質は何かと言うことを充分身につけておられ、設立以来立派にご発展されましたこと本当にご同慶に堪えません。

殊に市原の発展は大変なもので昭和39年当時の人口が10万人でしたが今日に至りましては24万人となり大きく発展してまいりました。この中にあって又20年を一つの節として貴クラブの奉仕活動は益々重要なものとなって参ります。

丁度本年度は第三分区代理として貴クラブよりロータリー活動に充分ご理解ある斉藤博分区代理が選出されましたことは錦上添花を添える感が致します。

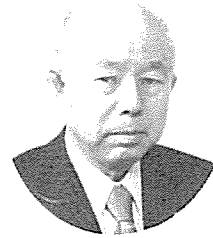
分区傘下の各クラブは今後共連絡を密にして国際的又地域社会の為に奉仕活動を一層活発にしたいと思っております。

貴クラブの益々のご発展と田丸会長を始め会員皆さまのご健勝をお祈りして20周年記念のお祝辞を申し上げます。

巨大工場群を持つ市原 特異性を生かして発展を

市原 R.C 創立ガバナー 特別代表

千葉 R.C 本 部 眞 之



市原ロータリークラブ創立20周年おめでとうございます。意義ある御祝いに御案内を頂きましたが生憎、健康を害して御祝詞を申し上げねばなりませんのに拙筆を差出すことを御勘弁願います。市原 R.C は千葉 R.C の子クラブとして千葉県下23番目かと思いますが、当時の地区ガバナー（横浜 R.C）故永沼政久氏により千葉 R.C をスポンサーとして1964年6月に結成されました。

或いはマニュアルをはじめ多くの資料文献によって統一せられ、何処の R.C でも余り異ったこともありませんから、皆一様に脚をそろえて活動しており、特に近年は R.I や地区からの統一的活動に協力する以外に単位 R.C の活動は、R.I や地区の行事の余力を以て自主的に創意工夫が必要となっています。此の為にはクラブの特異性を発揮するのが必要でしょう。

私がこのような提言をしますのは、市原 R.C が他の都市に見られない特異性があるからなのです。このことは、市原 R.C 創立時の経緯を考えればハッキリすることです。

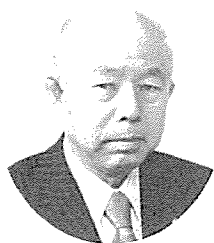
市原市は県都千葉市に南接し、町村合併によって頗る広域な地方都市となっているのですが、その地域の産業構成は沿岸埋立による国内有数の近代的工業と此れと一線を劃したように房総西線東側に広がる広大な農村地帯とに分れていて、地域特性があり、この形で一体となって国際ロータリーのような社会的奉仕にまとまるであろうかというのが千葉 R.C や私の懸念でした。然かも、既に当市にはライオンズ・クラブが結成されて、活動を開始しており状況は極めて不利に思われたのです。然しその地域の古いリーダーであった宮吉町長や、沿岸工業地帯に進出していた巨大な工場群の中には、優れた指導力をもつ多くの幹部がパイオニア精神とも思える協力を与えられたのです。

このような地域的特異性をもつ都市の R.C こそ活動の工夫が出易いと思われます。このようにして私は市原 R.C の創立後の10ヶ月間 C N が終るまで市原 R.C の例会には欠かさず出席して、クラブの成長を見守ってきました。私は健康を失うまでホームクラブ（千葉 R.C）には20年間例会出席100%を守りましたが市原 R.C の出席を加えればもっと出席率は高まったでしょう。今日市原 R.C が創立20周年を迎えられますことに感慨一入なものがあります。今後も何とぞロータリーの理想に向って精進を重ねられんことを祈ってやみません。

——表彰者並びに感謝状贈呈者横顔——

(敬称略)

◆ 特別代表に感謝状贈呈

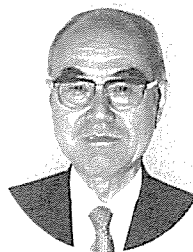


本 部 眞 之

◆ チャーターメンバー（現会員）表彰



名誉会員
古城江 観



小 熊 禎 一



川 上 一 之



酒 枝 次 郎



石 福 優

◆ 交換学生引受校に感謝状贈呈



県立京葉高等学校



県立緑高等学校

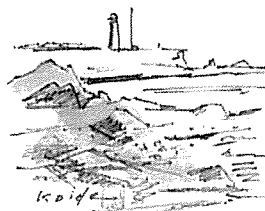
◆ 交換学生引受家族に感謝状贈呈

井 尻 当 之
穴 倉 健一郎

◆ 市原 R.C 事務局員表彰



広瀬正子



式典アトラクション

《S.K.D東京踊りザ・レビュー'84》

松竹歌劇団

- 1 景 獅子と蝶
- 2 景 レッド・ライオンズ
(ラインダンス)
- 3 景 深 川 (マンボ)
- 4 景 フラッシュ・ダンス
- 5 景 ピエロ
- 6 景 オブラディ・オブラダ
(ラインダンス)

- 7 景 唄
- 8 景 ボレロ
- 9 景 シング・シング
- 10 景 ルビー・ベイビー
- 11 景 カーニバル
- 12



藤川 洋子



甲斐京子



フラッシュダンス ▲

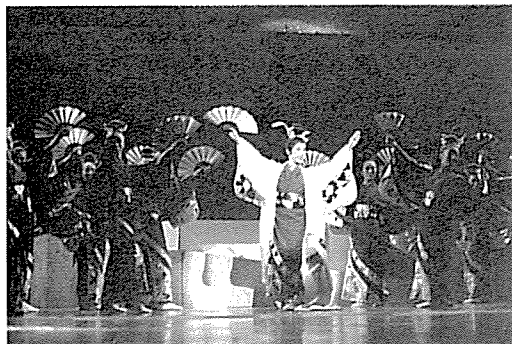


愛川佳代子



峠かおり

ボレロ ▼

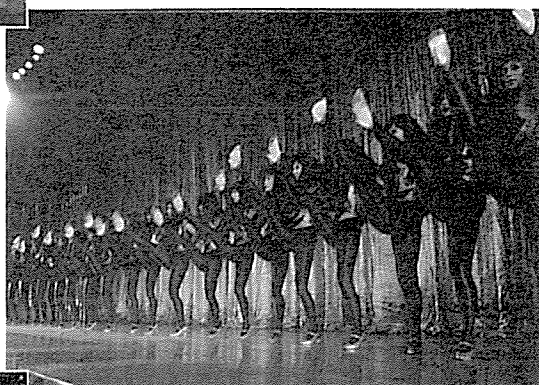


深 川 ▲



獅子の舞 ▲

レッドライオンズ
(ラインダンス)



カーニバル ▼



乙女春花



立原千穂



梓しのぶ



星里くらら

『松竹歌劇団 (SKD) 概略』

松竹歌劇団は、昭和3年10月女性のみの劇団として創立されました。

戦前は歌舞伎座、東京劇場、新宿・浅草両松竹座、新橋演舞場、帝国劇場、国際劇場等をベースにオペレッタやグランドレビューを中心に公演を行うと共に、大阪、京都他地方都市で定期公演を行う。

又、戦中は比島、中支を始めとする戦線慰問や国内工場、鉱山、鉄道等の増産奨励慰問公演他を行う。

戦後、昭和20年10月再出発し第一期生を募集、従来の団員を含め公演活動を開始し、昭和23年国際劇場復興と共にグランドレビューを復活、発展させた「春の踊り、東京踊り、夏のおどり、秋の踊り」を四季に分けて上演、戦後の暗い世相の中で明るく楽しい健全娯楽として広く国民大衆に愛されて現在に至っております。又、各公演毎に北海道〜九州、沖縄まで毎年地方巡業を行っており、この間芸術選奨、芸術祭大賞、奨励賞、芸術祭優秀賞、テアトロン賞等を受賞いたしました。

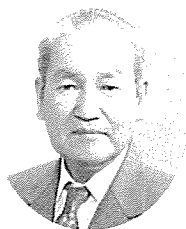
この他、国賓や外人観光客を多数迎え国際的にも楽しまれており29年、タイ国憲法発布記念公演を始めとして海外公演（別紙添付）を含め、民間的立場からの外交親善にも寄与しております。

尚、昨57年4月国際劇場を離れてからは、歌舞伎座を始めサンシャイン劇場、前進座劇場他で公演を行うと共に国内巡業、海外公演を行っております。

特 別 講 演

市原の古代と現代

菱 田 忠 義



バカ貝を青柳というのは

江戸の^{だま}大店へ勤めた上総出身の小僧さんと安房出身の小僧さんが、ある時言い争いをした。上総出身の小僧さんが「房州者かよ^{あばら}肋が足らぬ、肋どころか気が足らぬ」とからかうと、安房出身の小僧さんが「そんなどころか上総の国じゃ、バカが余って売りにくる」とやり返したという。

たしかに上総の国ではバカ貝が沢山とれる。いわゆる江戸前で、今すし屋でバカ貝のことを^{あおやぎ}青柳というのは、実はバカ貝の産地が市原市の青柳だったから、この地名をとってバカ貝の異名としたのである。江戸前の地であるこの地方は生鮮魚介類の産地で、江戸との至近距離にあり、江戸文化とのつながりが密であったことが考えられる。

さかのぼって、市原の地は非常に古い歴史を持ち、房総でも大事な土地だった。地理的にも東京湾に面していて、ずっと平坦な地形で、大きな養老川の流域地帯であり、気候も温暖で、早く開けた土地である。

市原の文化は1万5千年から2万年もさかのぼれる。旧石器時代の遺物が数か所から発掘されており、まだ土器を知らなかった時代から、われわれの先人がこの地に住みついていたことがわかる。その後貝塚を造成した縄文時代人も弥生時代人も住み、やがて巨大な古墳を築造した豪族もいた。

市原には古い神社も多く、いわゆる式内社は上総国五社のうち、姉崎・島穴の2社があり、寺院としても、奈良時代あるいはそれ以前と思われる布目瓦^{ぬのめがわら}を伴う古い廃寺址もあちこちに存在し、高度の文化が存在したことを示すよすがである。市原の原始古代は着目すべきものがある。

古代の支配者であった^{くにのみやつこ}国造も、^{うな かみ}海上国造や^{きく ま}菊間国造の存在が知られている。今に残る古墳はこれら地方豪族たちの築造したものと考えられている。

都との交流さかんな市原

もともとわが房総は黒潮文化圏に属しており、西からの文化の流入によって早く開けた土地であり、古く総の国と呼ばれた。総は麻の意であり、麻の生産地であった。五井と姉が崎の境にある今津朝山の朝山は、もと麻の麻山であったという。古代の房総から中央への貢納物にも麻関係のものが多かった。

やがて大化の改新が断行され、わが国は新しい政治体制がとられ、従来の国造制から国郡制に改められた。ふさの国の中央には「上総国」が置かれ、その国府が市原地区に置かれた。それは市原の地としては特筆大書すべきことで、日本統治の大切な場所の一つとして市原が選ばれたわけである。郡としては市原郡と海上郡が置かれ、市原郡の郡家は郡本に、海上郡のそれは小折に置かれたといわれている。

いずれにしても国府が市原地区に置かれ、さらに近くに信仰の據点として、一国一寺の国分寺、国分尼寺が建立されたことは、広い上総国の統治の中心地としての位置を確保し、政治・経済・宗教・交通・文化等の中枢となったわけである。

令制によると、駅馬は島穴に五疋、伝馬は海上に五疋配備された。島穴は今の島野の地といわれ、海上は郡家のあった小折の地といわれる。これらは公用便ではあるが、その後の交通の要衝として発達してゆくのである。

前の国造のあとは市原郡や海上郡の郡司として、国司の下に組み入れられ、国司は都から親王や有力官人が来任した。上総国は大国に格づけられ、親王任国でもあり、国司の守も介も有力者が多く任命された。有名な百済敬福・石上宅嗣・菅原孝標・大伴家持なども上総国司に任じた。

現在上総国の国府は、市原地区にあったことは歴史的に認められており、国分寺、国分尼寺の所在位置は既に確認されているから、当然この近辺であったことは間違いないが、いまだ決定的なことにはなっていない。

古い東海道は相模から海を渡って上総へはいるので、国府は現在の富津あたりに置かれてもよかったと思われるが、一方では陸上交通も考えられるし、富津・木更津あたりには有力な餓富氏が強大な勢力を伸張していたので、それを避けたとも考えられる。同じ市原地区の中でも海上国造の勢力は大きく、比較的弱小と思われる菊間国造の勢力圏に国府を置いたと考えられる。

文学、和歌にも多くの記録が

国府のことについては、国司の一人として、上総介の職で在任した菅原孝標の娘が、更

級日記を書いて、ある程度の記述を残しているし、色々の文献や伝承から、いくつかの説が立てられているが、目下のところ村上の地に国府が存在したという説が有力である。

ひるがえって、当地方には日本武尊御東征にまつわる伝承があり、日本武尊が複数の人物であるとの説もあるが、それはいずれにしても、あちこちにこの伝承は残っている。式内社の姉崎神社にも、日本武尊が東征の途次この台上に立たれて海上の白浪を望見され、相模から渡海の際お妃の弟橘媛を失われたことを偲び、この宮山台で風神の志那斗弁命をお祀りし、行路の安全を祈願されたという縁起がある。

また、今から千三百年も前の歌を集めている万葉集には、市原関係の歌が九首も収録されている。ここに三首ほど挙げてみる。

あすまうた
東歌

読人しらず

夏麻引く海上瀉の沖つ渚に

船はとどめむさ夜ふけにけり

さきもりのうた
防人歌

ちやうのよほろわかお べの もろ ひと
帳丁若麻部諸人

庭中の阿須波の神に小柴さし

吾は斎はむ帰り来までに

くにのみやつこのよほろくさか べのお み み なか
国造丁日下部使主三中

たらちねの母を別れてまことわれ

旅の仮蘆に安く寝むかも

これらの古歌をみると、上代の様子が思いやられ、遠い先人たちが遥か九州の地まで防人として出で立った心情も偲ばれる。

その後の市原の古代は、有名な平将門や平忠常の乱にも、それなりの影響を受けたであろうが、人々は逞ましく生き抜いて、次の中世へと引き継いでいったのである。

戦後の市原の大変貌

中世の初め、源頼朝が房総を通過して、鎌倉に幕府を開き、鎌倉時代を現出し、足利氏による室町時代へ継ぎ、さらに戦国の群雄割拠の時代を経て、近世江戸時代に及び、その間さまざまの歴史と文化の変遷を織りなして、やがて明治維新を成就し、近代文明開化の世となる。

第一次・第二次の世界大戦の終戦後は市原の地も大変貌の時代を迎えた。

昭和の30年の声を聞いて、千葉県も大きな脱皮を敢行した。

戦後の急激な開発である。曰く京葉工業地帯の造成、曰く内湾の埋立、曰く漁業権の放棄、曰く漁業補償、そして宅造と誠にめまぐるしいほどの郷土の変化であった。

人口の急激な社会増、千葉港の造成、貨物取扱い量の激増、続いて東京国際空港の新設さらには東京湾横断道路の促進、もはや一ころいわれた千葉県は日本列島の盲腸的存在で、本州にぶらさがった半島で、あってもなくてもよいものなどという観念を見事に脱出して、古代のそれのごとく、改めて東海道の新幹線上に浮上したのである。

私は、木更津の南から内房線で千葉に通勤途上、市原地区でかつて車窓近く、眼下に見た海辺に、海水浴や海遊びのための休憩所が、一夜にしてその看板を塗り変えて、新たな工事現場の事務所や飯場に衣がえした事実をこの眼で見た驚きは忘れられない。

工場地造成の埋立てのための、海砂吸いあげのポンプが、海中の生きた魚も貝もそのまま吸い込んで埋立ててしまった。遂に「蛤の碑」になってしまったのである。

かつての波静かな遠浅の海辺は、またたく間にその姿を変え、工場の煙突の林立する新しい工業地帯となり、市原郡は全郡一市の市原市となり、千葉県の先端をゆく新興都市として、力強く新たな息吹きを開始したのである。

古代に上総国の中枢であった市原地区は、現代において、再び新たな脚光を浴びて、颯爽として千葉県の、いや日本の桧舞台に登場したのである。そして日本が世界にはばたく原動力ともなったのであり、これからの発展も期して待つべきものがある。

市原にはこんな古いエピソードが

終わりに、二・三の面白いふるさとばなしを申し述べたい。

源頼朝伝説の一つであるが、頼朝北上の途次、立野^{たての}の長右衛門家に立寄り、上総・下総の国府の状況やこれから進んでゆく^{さきさき}先先の^{さきさき}状態をうかがって暫し滞在したお礼に、牛が一日歩く土地を長右衛門に渡し、白旗の旗竿を切り替えたことから、姓を^{きりかへ}切替としたという話がある。今の切替尊文家である。

姉崎神社の御祭神が大変待たされたことから「待つ身はつらい」と言われ、待つ^{まち}の音通の松を嫌い、姉崎神社境内には松は一本もなく、お正月も氏子たちは門松を立てず、櫛を立てる習俗が残っている。なお姉崎神社にはかつて「牛ほめ」という農業に関する特殊神事が伝承されていたことも着目される。

市原海岸が埋立てられ、新しい工場が出来て、地元で漁業補償のお金はいったためか、ある年急に毎戸五月の鯉のぼりがひるがえった。大きくなった子供の鯉のぼりも一斉にあ

がったとも聞いた。また新しく来住した人の中で、都会的に八百屋でネギを一本ずつ買われ、八百屋さんは一本ずつ売った経験もなく、「一本ならどうぞただでいい」というわけで、みんな無料となったという話もある。

ひし だ ただ よし
菱 田 忠 義

大正 2 年 9 月 22 日生

千葉県出身

県立木更津中学校 卒業

国学院大学 大学院 修了

前歴

公立高等学校長

県立中央図書館長

現在

千葉県文化財保護審議会委員

千葉県立安房・上総博物館協議会委員

来賓者ご芳名

(敬称略)

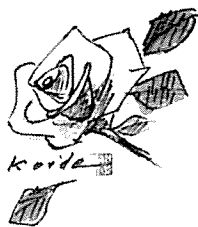
(59. 2. 29までに出席返信のありました方のみ記載させていただきました。)

市原市市長	井 原 恒 治
京葉高等学校校長	金 丸 英 郷
市原ライオンズクラブ会長	斉 賀 行 彦
市原青年会議所理事長	加 藤 庄 司
市原ボーイスカウト会長	相 川 一 巳
市原ガールスカウト会長	丸 山 孝 枝

第279地区ガバナー	小 原 美 紀
第279地区バストガバナー	青 山 幸 高
"	藤 代 善三郎
"	岡 野 正 雄
"	鈴 木 憲 輔
"	平 田 博 永
"	寺 田 欣 一
"	織 戸 勝 雄
第279地区ガバナーノミニー	茂 木 佐平治
第一分区代理	高 木 勝 衛
第二分区西代理	青 木 忠 久
第三分区直前分区代理	鈴 木 誠 事
第三分区次期分区代理	吉 田 敬次郎

千葉R.C会長	坂 本 次 郎
千葉R.C幹事	半 田 幸 三
千葉R.C	小 林 龍 男
千葉南R.C幹事	新 城 洋 一

千葉南R.C	越 部 平八郎
新千葉R.C会長	森 信 雄
新千葉R.C幹事	松 元 驥 一
新千葉R.C	緒 方 尚 紘
千葉西R.C幹事	山 田 浩 治
千葉西R.C	関 根 吾 郎
千葉中央R.C会長	高 山 義 雄
千葉中央R.C幹事	鈴 木 喜 久
千葉中央R.C	猿 渡 正 敏
東金R.C会長	川 口 順 司
東金R.C	古 川 寛
東金R.C	小 川 計 司
館山R.C会長	伊 沢 一 男
佐倉R.C会長	石 井 順太郎
松戸東R.C会長	宮 間 博
八街R.C会長	丸 山 房 夫
八街R.C幹事	大 畑 喜 信
八千代R.C幹事	長谷川 禎 一
八千代R.C	鈴 木 重 昭
木更津R.C	北 村 鉄之助
松戸R.C会長	立 沢 淳 三
市原R.C名誉会員	古 城 江 観
青少年交換学生の父	田 中 義 雄





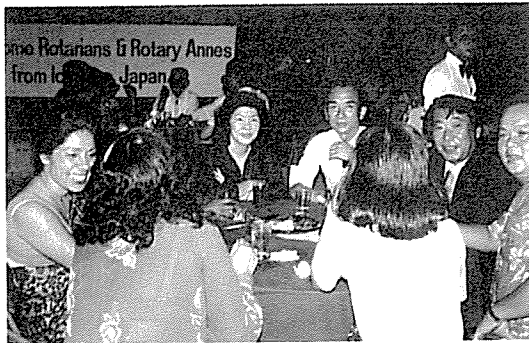
マレーシア特産の錫の加工工場をP.J.R.Cの会員により案内されて見学する

◀ P.J.R.C例会にて 今年度ターゲット
“Shore Rotaly Serve People” のたれ幕を
贈られる海上会長。 テォ・キム・テアム会長



市原R.Cのメンバーを歓迎して催された
P.J.R.C家族会会場風景

▼ P.J.R.C対市原R.C親善ゴルフ大会にて
両クラブより4名づつ参加。うでを競った。
ネガラスバンケラブゴルフクラブにて



小学生に運動靴をプレゼントするP.J.R.C ▶
毎年2〜3千足を寄贈している。



'83〜'84会長
ルバード・ゴールドマン
と合唱する上條会
員。マイクにとど
かないため、いす
の上に登っている。



幾多の思い出が蘇る

その足跡を尋ねながら

懐いの日 二十年

第三分区情報委員会



’83. 10. 7 開催

ホストクラブ 市原ロータリークラブ

於 千葉ニューパークホテル別館大ホール

第三分区, 6 クラブより総勢147名参加

ガバナー 小原美紀

情報研究会リーダー 齊藤 博 分区代理

スピーカー 千葉R.C 小林金市 会員

新千葉R.C 宗像四郎 会員

千葉西R.C 佐藤 功 会員

千葉南R.C 市原正夫 会員

千葉中央R.C 和田憲治郎 会員

市原R.C 酒枝次郎 会員

思 い 出

第 6 代会長の思い出 清新なエネルギーに燃えて

酒 枝 次 郎



私は、69～70年度（昭和44～45年）、第6代第5人目の会長をつとめさせて頂いたものですが、切替尊文前会長からかなり突然に御指命を受けたもので、今から思うとその不勉強さは汗顔の至りです。

幸にも、幹事を小出善三郎氏、副会長を清水保夫氏（宇部興産）が引受けて下さり、各委員長も多士済済で、お蔭様でどうにか一年を送り、手続要覧の文章にやっとなじんだ頃次期会長と交替した次第です。

当時、この地区は、R I 3 5 7 地区で、埼玉県と千葉県をテリトリーとしていた。ガバナーは新千葉クラブの森田勝彦 P G でした。因みに地区の変遷については、当クラブ創立時（'64）は、3 5 8 地区で、千葉、埼玉、東京、神奈川、沖縄がテリトリーであった。'67 千葉・埼玉が分散して3 5 7 地区、'73 千葉県のみとなり3 4 9 地区、その後の改組で'75年に第2 7 9 地区となりました。

昭和44年は新年早々東大安田講堂事件で幕を開けましたが、一般には“イザナギ景気”と呼ばれる年で社会的に活気に溢ちていたように思われます。ロータリー年度のはじまる7月には大雨に見舞われ災害を出している一方、20日にはアポロ11号がはじめて月の静かな海に着陸し、人類がはじめて月面に立ちました。11月22日、2年後の沖縄の本土復帰決定。

45年の春は万国博開幕の傍ら、3月31日よど号ハイジャックがあり、6月23日の日米安保自動延長をめぐる赤軍派の武力闘争が、47年の浅間山荘事件まで世間をさわがせました。一方45年11月25日、三島由起夫の割腹自殺がショックを与えました。

さて、市原 R C に於ては5周年記念事業を前年度に全員協力一致して行って以来、意気軒昂なものがありましたが、今から思えばやはりひとつの節目の年であったと云えます。

例会は火曜日、会場は出光会館をお借りしていました。

この年度の R I 会長は、ジェームス・F・コンウェイで、ターゲットは“Review and Renew”（再検討し刷新しよう）。これを“レビューをみて若返えろう”と云った

人がいましたが、ロータリアンの老令化がぼつぼつ話題になっていた当時の背景がうかがえると思います。

為すべき事は山積していましたが、小出幹事の采配の下に、それなりに成果は挙げたと思います。

10月8、9、10日の県文化会館で行われた年次大会には47名と云う殆ど全員が出席し、後半船橋で行われたIGFでは、パネラーに宮吉元会長がえられ、清水副会長、石福社会委員長、石丸会員等の発言があり、相等にはなばなしいものでした。

親睦に関する行事は特に多く、家族同伴の会合も結構ありましたが、移動例会、炉辺の会談も屢々持たれました。特に忘年会、新年会は、斉藤委員長の胆入りで新年に花柳啓之社中を呼んだりしてたいへん豪華なものでした。

今から思いますと、創立6周年は次に向っての張切った清新な気分を皆様が持っていて、ある種のエネルギーに充ちていたように思われます。

会長時代を顧みて 夜空にクッキリ、交通安全塔

斉 藤 博



回顧－創立20年を祝福する。

私の会長年度は、1980～81年（昭和55～56年）です。此の年度のガバナーは平田博永氏（市川RC）でした。幹事は新進気鋭の山田守氏、副幹事に上條優雄氏、それに次年度会長候補の麻難実副会長諸氏の御力添えを頂き、役員委員はもとより、会員の皆様の温い御支援によりまして、とにも角にも任期を終り得た事を心から感謝しております。

思い出としては、国際ロータリー75周年を迎え、其の記念事業として交通安全塔を各方面の御協力を得て、市原市市民会館の駐車場の北側に建設することになりました。

山田会員の設計、境会員の施行により、見事に竣工し、9月3日午後2時30分より、交通安全塔の除幕式が盛大に行われました。時田会員の祝詞奏上の後、来賓並多数の会員列席者の見守る中、上條とく子ちゃん（上條会員のお嬢さん）、山田直子さん（山田会員のお嬢さん）が除幕の綱を引くと、紺と赤の色も鮮かな交通安全塔が名残の夏空に映え「パ止めて ちょっと飲むくせ とばすくせ」の標語が、交通安全を願う私達の気持を代弁

するかの様に、クッキリと浮び上りました。台座に取付けられた2基の照明が、夜の交通安全にも、大きな役割を果たしてくれて、永く道を往き交う人々の心の灯となることと思いました。

財団奨学生の榊原由利子さんは、オリエンテーションも終了した81年の5月に、目的地に飛立って往かれました。

第三分区内においても市原ロータリークラブは第三番目に古いクラブとなりました。20年のよき伝統の中に、新しい活力を得て、一層の奮起と、発展と、活躍をこの機会に心より祈るものであります。

以 上

泣き泣き受けた分区代理 姉妹クラブ、PJRCと締結

小 出 善 三 郎



昭和40年、34才の時、伊藤幹事にすすめられて、市原ロータリークラブに入った。それから数えて19年になる。

入会して9年目、43才の時、河合会長がやってきて、次年度の会長をやれという。

先輩たちから、ロータリークラブの役員は「ノー」と言ってはいけないと教えられていたので、しぶしぶ引き受けた。ロータリー歴や年齢から見て、別に不自然ではないが、力量不足を理由に、さんざん固辞したが、どうしても許して貰えなかった。

会長としての1年間は、今考えても恥しいほど、だらしなかった。実績らしいことは、ペタリングジャヤとの姉妹クラブ締結くらいのもんだろう。しかし、このことは、後々までも、双方のクラブに迷惑をかけて、申し訳ないと思っている。

会長が終ってやれやれと思っていたら、翌年の昭和51年、45才の時、切替会長と外山幹事が来て、こんどは分区代理を引受けろという。

これには驚いた。

誰に指名しても逃げられてしまって、不名誉ながら、当クラブは、分区代理の推薦を辞退しなければならぬところまで追い込まれていたのだ。

強引に責められて、とうとう承諾してしまった。

その晩、荒井、外山、三木、寺嶋の各会員と一緒に、スナックで酒を飲みながら、大荒れに荒れた。別に、泣き上戸ではないけれども、その日だけは、涙をぼろぼろこぼしながら4人に絡んでいた。

それから10日後に、まさか酒の飲み過ぎではないが、突如黄疸が出て、急性肝炎で入院してしまった。

幸いにして、2か月で治ったが、青白い顔をして、他クラブへの挨拶回りは大変であった。

当時、赤木ガバナーは、明治36年生まれで73才、親子ほどの年令差があった。

歴代ガバナーの中では、決して目立つ方ではない。故、川名パストガバナーが評されたように、なかなか芯のある気骨と、適度のユーモアを備え、そして、人の痛みを知る心を持ち合わせた、人間性豊かな人柄に、とても魅せられ、教わること大であった。

分区代理の任期中、ガバナーに頼まれて、当クラブのポール・ハリス・フェローを、ゼロから5人に増し、準フェローを7人に増して、地区財団優秀クラブの表彰を受けた。

無理矢理分区代理をさせた代償に、クラブの友人たちが、協力してくれたのだ。大変嬉しかったが、おかげで、次の年、地区の財団推進小委員会の委員を命ぜられてしまった。

青山パストガバナーから、分区代理の補佐道は、虚心坦懐、つまり、おのれを虚しゅうして、ガバナーの徳をなす、ことだと教えられていた。出過ぎてもいけないし、引っ込み過ぎてもいけない。

与えられた任務は全うしたつもりだが、クラブの名誉を汚すことがなかったかと、今でも、メーキャップに行くたびに、当時を思い出して、冷や汗が出る。

どこのクラブへ行っても、大勢の大先輩が目を光らせているので、寿命が縮む思いだった。もうこりごりだ。

今だったら、きっと肝硬変になって、あの世行きだろう。



市原 R.C “のんべ” 番付表



行司 上 條 優 雄

東		西
荒 井 太 郎	横 綱	川 上 一 之
小 出 善三郎	大 関	菊 地 脩 祐
切 替 章 敬	関 脇	海 上 信 久
外 山 定 利	小 結	郡 司 元 靖
斉 藤 信	前頭 1	三 木 敏 靖
麻 薙 実	” 2	周 郷 正
上 條 優 雄	” 3	鈴 木 宏 祐
山 崎 邦 夫	” 4	佐 藤 勇
大 野 貢 治	” 5	夏 井 祐 輔
齊 藤 博	” 6	酒 枝 次 郎
時 田 謙 祐	” 7	田 丸 章
景 山 茂	” 8	金 光 義 弘
藤 谷 実	” 9	白 鳥 政 孝
時 田 轟	” 10	大 西 英 一
石 橋 優	” 11	浅 野 薰 之
出 光 裕 治	” 12	谷 川 市 蔵

市原 R.C 20周年を迎えるにあたり、当クラブの現在の会員を対称に酒蒙をリストアップし、後世の会員のために、ここに記録しておく。聞きおよびところでは10数年以前に当クラブの酒蒙番付が作られたそうであるが、当時の古川横綱は今は故人となられ、メンバーも一新している。それ故にせんえつではあるが、私が行司となり、独断と偏見をもって作成した。関係各自には種々異論の出る所と思われるが御容赦いただきたい。

優劣を決めるにあたり、酒量のみを参考にしたわけではない。むしろ酒量より、飲みっぷり、酔いっぷり、かくし芸、座もたせ、悪い酒癖が無いかどうか、付き合いの態度が良い

かどうか、等を総合的に判断して決定させてもらった。

両横綱に荒井・川上

東正横綱は荒井太郎に決定した。若いころから一升酒、昼食前にコップ酒、無類の酒好きであり、いよいよ肝臓をこわしたが、これを酒にて治癒させたという。近親者の話ではいよいよふくれあがってきた肝臓で左脇腹が異常に突出しだし、荒井太郎もこれが最後だとうわさしたそうだが、飲み続けるほどに肝臓は硬化しはじめ、やがてはそのまま凝固してしまい、今ではただ突出しているのみで、身体に全ったく異常はない。彼のかくし芸はクラブ随一で、黒田節に合わせて盆に盃をひとつ乗せ、舞台中央にしずしずと進む。恭しく一礼の後“ノミとるほどに飲むならば”と舞い初める。但しここでのノミは“ホワイトチーチー”の方であり、コミカルなおどりは何回見せられても、満座の拍手喝采を得る。荒井さんは明治42年生れ、最近ではさすがに酒量は落ちぎみではあるが、それでも正横綱の位置はゆずらない。いつまでも元気に飲みつづけてほしい。

さて西の横綱はこれまた大物、川上一之先生である。とはいっても実際にはほとんど飲めない。三年前にもらったウィスキーが応接間に埃りまじりに、鎮座している。何故横綱なのかと申せば、2～3杯飲むと野武士のような風貌は一変して、近隣にいる若い者をつかまえて川上流ロータリー論をぶちかます。これがまた理論整然としているが故、説得力があり誰も異論をととなえられない。めったにお目にかかれないが、本人のよほど気分のよい時は、得意の咽を聞かせてくれる。広沢虎造そっくりの浪曲“石松代参”である。但し私も10年ロータリーに居て、3回しか聞いたことがない。聞きたいときには、まずたっぷりと“ロータリー論”を聞いた上で、お願いしてみるとよい。

大関はプロの小出と一躍新人の菊地

「ヒガシ……コイデ……」。品格、酒量、共に大関の貫禄充分である。それにもまして彼の職業分類は酒精飲料卸売、意地でも三役は外せないところ。彼のかくし芸は月謝がかかっている。木更津にかよいつめてついに「木更津甚句」の免許皆伝を得た。師匠の芸者さんが言ったそうである。「貴方ほど短時間で免許皆伝になった人はごくまれですよ」それだけ通いつめたということであろう。しかし私個人に評価させてもらうなら、彼の「石の地蔵さん」の踊りの方がおもしろい。お面も何んにも無しでも、彼の顔、姿は地蔵さんそっくりである。

ついで西の大関は菊地脩祐さん。入会わずか2年半で異例の昇進であるが、昨年姉妹クラブのマレーシア・ペタリングジャヤR.Cを訪問した際、彼の人気は抜群であった。総勢7人のメンバーの中で、P J R Cでの知名度は最高に上った。飲むほどに酔うほどに盛り

上った歓迎会の終宴近く、P J R Cメンバーの奥様と格調高い社交ダンスを一人ご披露し、拍手喝采はもちろん彼女の接吻の祝福を受けるという荣誉にあづかった果報者である。一事が万事、宴席の場もたせは当クラブ随一、予算不足になった時など彼にたのめば簡単に金を集めてくれる。彼が帽子を片手に会場をひとまわりすると、たちまち4～5万円の金額は徴集されるという特技を持っている。技、体力共に充分な実力があり、将来横綱への期待がかけられる。

実力伯仲の関脇、小結、前頭筆頭

酒量から言えば、郡司、三木、斉藤（信）さんであろう。郡司さんは“はしご”の名士である。「夕食でもごいっしょに」とさそわれて、レストランで食前酒に水割りダブルで4～5杯。その後は栄町で飲んで、銀座までタクシーをとばす。そこで二軒、閉店でおいだされて六本木へ。帰りの京葉高速道を千葉へと向かう時分には、朝日が昇りはじめて大変まぶしかった思い出がある。とにかく強い。ボトル一本飲んでも顔色ひとつ変らない。しかし小結で足ぶみしているのは、6年おつきあい願っていていまだ歌のひとつも聞いた事がない。この辺にいま一段のご努力をいただければ、大関、横綱も夢ではあるまい。

ついで三木さんは酒量から言えばR.C随一であろう。ただし毎日飲みすぎて常に下痢ぎみ、おかげで万年肥れない。

斉藤信さんについては私もよくは存じ上げない。いつもニコニコ笑顔で、静かに酒を楽しんでいる。いつの日か一夜相対でお手合せしたいものだ。

しかしながら私としては酒量よりも、酔いっぷり、かくし芸、座もたせ、といった技を重視したい。そこで前記の3人よりも上位に切替章敬、海上信久関脇、外山定利東小結にランクしてみた。

当クラブ随一のエンターテナーである切替さん。ごましお頭に蝶ネクタイ、東海林太郎並のきおつけの姿勢で、お声の方はバリトン。クラシックのプロかおまけであり、酒の肴にするには申しわけないようだ。

威風堂々、品格高い海上さんの飲みっぷり、しかし最近ではビールのみのようだ。満洲のコーリャン酒や露西亞のウオッカで鍛えた話しは時折聞くが、ビールのみとは少しさみしい気もする。

無類の付き合いの良いのは外山さん。並いる酒豪をしりぞけて小結にすえたのは、司会役。ホテル経営という職業柄あたりまえ言ってしまうとそれまでであるが、ムード満点で宴席を盛り上げていく。時折制限時間を忘れて悦に入るきらいがあり、この難点をなくせば、関脇昇進確実であろう。

若手有望の鈴木，中堅実力派の山崎

酒も強いし、座もちも最高、ユーモア・ジョークをふんだんに折込んだ話術は天下一品の麻薙さん。技能、敢闘、殊勲の三賞候補に常に登場する名力士である。しかし連日連夜の飲みづかれの為か、はたまたお孫さんに早く合いたいためか、最近では中座して帰る事が多い。昔、近衛の騎兵隊、出てくるお歌は“梅と兵隊”である。彼と宿泊付きで宴席を持つ場合には、その幹事さんにそっと教えてやってほしい。彼の寝室は必ず個室で取っておくこと。それでなければ彼は参加しないし、又参加したとしても同室の方は一夜寝れない事になる。

腹を割って、気楽に飲める相手の周郷さんは前頭2枚目、私も僭越ではあるが前頭3枚目におかせてもらった。所詮は3枚目であると自覚している。

さて将来を有望視される若手の最右翼は鈴木宏祐さん。お銚子2～3本飲むと、ほんのり、鼻の頭が赤くなり、得意の咽を聞かせてくれる。歌謡曲のたぐいなら何でもOK、知らない曲はない。地元八幡や五井の飲み屋さんで彼の名前を知らない人はいない。たいていの店に鈴木さんのボトルは置いてあるから、いよいよの時は彼の友達である事を言っちゃいって拝借する手もある。本業は菓子屋さんで、ご本人は左利という異端児ではある。

一方こちらは中堅実力派の山崎邦夫さん。もっぱら座敷にあがって、三味線を聞きながらじっくり酒を交す古典派である。じっくり腰をすえて飲むかわりに彼はけっして二次会には行かない。彼一流の飲み方である。

実力は横綱なみであった佐藤勇さん。ただ残念なのは昨年医者に酒を止められたという。この辺が荒井横綱と異なる点で、今は中堅で低迷している。このあたりは気合でおぎなって早く体調を整え、上位進出をはたしてほしい。

両分区代理経験者は共に前頭6

2～3杯で顔を真赤にする大野さん、もっともそれ以降も正座したまゝでぐいぐい入る。けっしてつぶれたり、くずれたりはしない。又彼の付き合いぶりは最高。3次会でも4次会でも最後の2人になるまで頼めば付き合ってくれる。

宴席をクイックのテンポでぐるぐる回って歩くのは夏井さん。もっともこれは現幹事でいろいろ打合せに忙しいためであろう。

さて齊藤博、酒枝次郎両大御所は仲よく前頭6枚目に位置していただいた。齊藤さんは飲むほどに、品よく、さりげなく、浮いた話しをしてくれる。彼の記憶力は抜群で、市原R.C20年の裏の歴史など聞いているとまったくあきない。創立当時、ロータリーでストリッパーを呼んだ話など何回も聞かされた。酒枝さんも又話しのねたには不自由しない御人

である。旅行と馬が大好きで、世界各地を旅行されているためか、彼と酒を飲む時には肴はいらないほど。

時田謙祐さんには立あがりうっちゃりの癖があって、相手にとっては取組しにくい。先日宴席で盃を合せた折、先手を取って僕が彼のヒザをポンポンたたいてやったら、とうとう最後までいつものように彼は僕の背中をたたかなかった。先手必勝である。しかしながら、歴史、習慣から浮いた話まで大変な博学であり、勉強家でもある。献上の美德であまり話そうとしないが、じっくり聞かせてもらう時、大変な勉強になる。

もっぱら聞き役に回って相手を誉めるのが癖の田丸さん。飲むほどにきまえのよくなる景山さん。皆さんなくて七癖であるが、宴席に大変調法なのが金光さんである。もちろん酒豪ではあるが、飲んで酔うということはあまりない。おまけにこの人が会費を徴集すると必ずお金があまるという奇妙な得意技を持っている。

飲めなくても前頭 10, 大西, 時田 (轟)

酔うほどにすぐ寝てしまう藤谷さん。地元で飲むと最後はお宅まで送るはめになる。たとえ寝なくても最後は自宅へ仲間をひっぱって行く癖がある。ベッピンの奥様をよっぽど人に見せたいのだろう。いつもニコニコ酒の白鳥さん。2～3杯で顔は真赤になり、一人で酒を飲んだような風をしている。

さて前頭十枚目には全ったく酒の飲めない時田轟、大西英一両氏が位置している。そんな人が総勢56人の当クラブで何故中堅に位置したかと申せば、まず時田さん。ギター片手にポップス、ホークを歌わせたらかななかのエンターテナーである。つきあいもよし、司会をすれば、じょうずに雰囲気盛り上げてくれる。それにしても酒屋さんが全ったく飲めないなんて、菓子屋の鈴木さんと交代するとよい。世の中おもしろいものである。大西さんがこれまた完璧のゲコ。しかし来年は会長を勤めるわけで、そのためもあってか宴席に必ず顔を出してくれる。大変な努力であろう。ついでのことにもう一段努力を重ねて飲めるようになってほしいもの。

石福さんは飲むほどに酔うほどに、ぐちを言うのが癖、「泣きの石福」の異名をとる。しかしながら“こまった”“どうしようか”と言っている内にメンバーの同情的協力を得て、周囲を納めていってしまう。20周年に当り過去の記録を整理してみたが、石福会長年度の記録はすばらしい。浅野さん、谷川さんも大変付き合いが良い。浅野さんは入会早々ペタリングジャヤR.Cまで付き合いってくれた。谷川さんも実力は三役なみと思われるが、もしゴルフの番付表を作れば横綱まちがいなしであるから、ここは前頭12枚目で我慢いただこう。出光さんについては本当のところ私には解らない。しかし歴代出光興産所長は酒

に強いし、かくし芸も皆さん多技多彩である。将来を大きく期待しよう。

まずは独断と偏見で好きかってなことを申しのべた。あるいはお腹立ちの方々もおいでであろうがロータリーの友情でご容赦いただきたい。何はともあれ共に集いて酒が飲めることは楽しい。せちがらい世の中で本当に腹を割って、駆引なしに酒が飲めることは少ない。この点ロータリー仲間は商売の関係もなく、偉い人も偉くない人も、年上も年下も関係なく“オイ”“ヨウ”で酒が飲める。何にも増して善意と友情を信じきって盃を交せるから酒がうまいのであろう。ロータリー仲間で酒を飲む時は、二倍酔うような気がする。会員諸兄、いつまでも健康に留意され、末永く美酒を楽しもうではありませんか。

“飲んで万歳”



◀ ▲ S56. 7 金谷海岸にて行れた親睦例会 簀立て風景

S54. 12 市原R.C忘年家族例会
切替会員 となりはお嬢様 啓子さん
と荒井会員ご夫婦 ▶



◀ よその奥様のご給仕で“恐縮でございます”



女性が入るとかくのごとくなごやかに ▶



懐かしの幹事時代 地区75周年記念誌に協力

三 木 敏 靖



「往時渺茫^{びようぼう}としてすべて夢に似たり」という程度ではないにしても、R.C幹事の1年はまあ忽ちにして過ぎた、という感じです。

外山会長、又会員諸兄の暖かいご援助によりやっと1年が過ぎたという気持がしました。可はなく、不可は一杯あり、その都度、外山会長に助けていただいた、そんな1年でした。

実は私は1977～'78年度の幹事に予定されていたのですが、丁度'77(昭和52年)春から、降って湧いたような市原青年会議所設立の騒ぎが起こり、急遽申し訳けなくも大先輩の麻薙さんに幹事を代っていただいたわけです。今でも何かあると麻薙パスト会長には、それを云われます。でもそれも懐しい思い出になりつつある、というのは甘えでしょうか。

さて、幹事の思い出ですが、毎回の例会では我ながら、「何と固苦しい幹事報告だな。もう少し、ユーモアを交えてやれないものかな。」と自身不甲斐なく思いましたが、そのまま終わってしまいました。深層心理的には、ロータリーが苦手なのかもしれません。

あの年R.I 279 地区75周年記念誌が発刊されました。その中で、クラブの編集記録をまとめたこと位が、記憶にある仕事といえば仕事でしょう。

それから、その年から第3分区内の会長幹事会が、定期的かつ本格的に持たれるようになったと記憶しています。この会に出席しての感想は、「(当クラブは)なんと出世の早いことよ。」と慨歎したり、又「早く(幹事)経験をすればそれだけ上りも早くなるわ。」と気をとり直したりしました。一例をあげれば、千葉の某幹事さんは、大正3年生れということで、あれには、驚きを通りこしてあきれました。

入会以来10年、まさに馬齢を重ねるのみであります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

20周年を顧みて

川 上 一 之



ロータリー歴20年といえかなり練達の士と人は思うだろうが、事実反して私は、市原ロータリークラブの落ちこぼれに近い老悪童の一人であり、私程の反骨野郎は当市原市には他にあまり見当たらない筈である。従ってこの20年間放言多々かなり皆様御迷惑をおかけして来た事を深く御詫び申し上げます。「何故そんなに」と思われる方もあろう。

そこで、任意団体であるロータリーが定款の下に之こそ金科玉條として10年一日の如く忠実に守り実行してゆく事に誇りを感じて居られる方が多いが、それ自体のマンネリ化に私は大きな疑問とやるせなさを抱き市原ロータリーは此のまゝに推移して良いのかと反撥をすらおぼえる次第、それ程此の20年間の世の中の進展は目覚ましいものと感じて居る。

日本の特に地方のロータリアンは功成り名遂げた者や金持ちで躬を持て余している者は少なく、殆どが一家の大黒柱の働き手であるか、或は職域会社での最高責任者であり、多忙を極めて居られる人達がその大半である。各論に亘り愚見を申し上げるのは差し控えるが、若し私と同感の人が居られたら私が何を言いたがって居るか御賢察出来よう。兎に角20年の間、此の地方でも優れた有識者が多数入会されたが日ならずして「従いて行けない」の一言を残して退会して行かれた。第二のロータリークラブが一つ出来る位の人達である。其の友達を責める前に何故この有能な人達が辞められたかを深く追究し討論して明日の会員補強に役立てなかったか。又ロータリーは「特殊階級」とか「金持の道楽だ、自己満足だ」等の不愉快な言葉を末だに時々耳にするが謙虚に之を受け止めて皆で反省し、どうしたら地域に正しく認識して頂けるか検討改善を計られる事も必要であろう。ロータリーに口を挟む事は「タブー」の様に遠慮し勝ちになるのはかえってクラブの発展を阻害し門戸開放を閉す所以につながって悲しい事である。

格調高いクラブも結構だがもっと親しみのもてる開かれた市原ロータリーに脱皮して欲しいと願っているのは私のみではあるまい。既に70才毒舌にも限果の見える私だが、之からの若い人達に明日の市原ロータリークラブが20周年を記念として職業を通じて、より地域住民に密着した奉仕を第一義に考えて頂き度い。そして進出会社と地元民との融和を主

体に明るく居心地の良い誰からも愛されるロータリーに、その運用改善を計られる様努力され度い。しかも市原ならではの独特の味をもった発展を遂げられる事に大きな期待を寄せる者である。

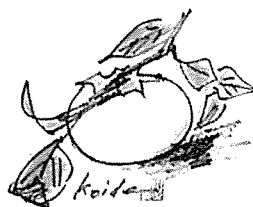
市原ロータリークラブ20周年御目出とう！

まかり間違って会長に

外 山 定 利



どの年度でも理事会が大変苦勞をする問題の一つに会長人事がある。現在のクラブ定款・細則によれば、前年度の副会長が翌年会長となる決りになって居るが、かつてはその様な事でなく、いきなり会長に就任するという事で、会長選出問題は、その依頼側と受諾側とが対立して、決着まで相当手間どる事が常時であった。そこで或る時期に現規定と全く同じ様なクラブ内規を作った時代があり、その頃の事である。私の前任会長であった寺島さんが副会長に、今は亡き、古川善次さんを決めた所、古川さんよりたつての願いという事で、副会長の辞退が申し出され、急遽後任の要請により、内規を無視するという条件のもと、その場を収拾する目的で副会長となり、翌年の会長選出時期を迎えた折、副会長就任時の条件は何処に消え去ったものか、およそその任でない私が、無理やり会長職を理事会の決定事項として押し付けられるはめになった。まさかまかり間違つての会長就任である。その時、先輩諸兄より聞かされた詞に、「ロータリーにはNOという言葉はない」の一言であった。



親睦会思い出数々 古城名誉会員宅で梅見の会

荒 井 太 郎



10年ほど前の話になるが、ある親睦会酒宴の席で、“ロータリーは親睦か奉仕か”で会員同志唾を飛ばして激論を交えた事がある。ある会員は「社会へ奉仕することなくして、慈善団体はありえない。奉仕を肴にして飲み食いしているだけではないか。」と言い、一方は、「まず親睦である。オイ、ヨウで話し合える状態が出来た時に、自然に業を通じて社会奉仕が成されるのだ。」という。中間案を提示するわけではないが、親睦と奉仕は車の両輪のようなもので、どちらも平行して進まねばならないと私は思っている。それよりも何よりも、議題は何んであっても、良識あるロータリアンが唾を飛ばして、熱中して議論出来る事がすばらしいと痛感した。本題からは脱線するが、紙面を借りて一言苦言を申すならば、最近の市原RCにはイエスマンが多すぎると感じる。タブーをタブーとせず、他人の意見に異議申し立をして、議論をしかける御人が出てくることを期待したい。

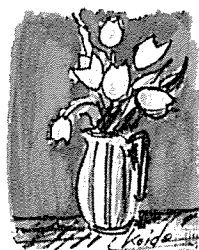
ともかく親睦はクラブ活動にとって最重要事項のひとつである。そこで思い出すがまゝに放談させていただこう。その昔、何かと言えば旅館観月を中心に木更津へ出むく事が多かった。五井の割烹福千あたりで議論したこともある。最近では歴代親睦委員長の計らいで、出光の鹿野山の寮をお借りし、花見の会を催したこともある。金谷海岸から屋形船を一艘仕立てて、^{すだて}簀立を催したこともある。実は簀立はそれ以前にも行ったことがあるが何回行っても内房独得の粋な遊び方であり、おもしろい。知らない方のために若干説明をさせていただくと、遠浅の海にしの竹で丸く囲いを作り、潮に乗って回遊してくるさまざまな小魚や蟹などを捕獲し、この簀に横付けにした屋形船で船頭が調理する天ぷらや刺身を肴に歌でもうたって一杯やろうという趣向である。周囲は海であるからいくら大声を出しても問題はない。遠浅の海はやがて干潮になると坐礁した形となり、中座したくとも帰るに帰れない。宴会にあきると海へ降りて、あさり拾いになる。木更津から自参の芸者さんなどが、日本髪に赤い腰巻をまくって貝拾いに熱中している姿などは絵になって楽しい。

数ある親睦会の中でもっとも思い出に残っているのは、古城名誉会員のお宅を借りて催した移動例会の事だ。昭和57年春のことであるから、明治24年生まれの先生は当時満92才

ということになる。古城先生は誰一人知らない人のいない、日本画の大家であり、市原市菊間で今もお元気で筆を執られているが、それよりも我々市原R.Cのメンバーに取って、先生は象徴的存在であり、53年ごろにシニア会員から名誉会員になられたと記憶している。このため通常の例会に出席なさらなくなったわけであるが、その後当クラブの忘年会にお呼びした折、懐しく先生を囲んで話がはずんだ。先生も又メンバーに毎週会う事が出来ず寂しいとのこと、長くロータリアンとして活躍した先生にとって、ロータリーは先生の生活の一部にもなっていたであろう。先生のアトリエは質素ではあるが真中に池を配する敷地3,000坪に及ぶ広大な庭園を持ち、庭木は普段は全ったく手を入れず、自然のまゝに放置されており、小鳥も多く四季折々草木の花が絶える事がない。「それでは先生のお宅で花見例会を開こう。」誰れかが提案し、衆議一決された。一番嬉こばれたのは先生である。さっそく家に帰って庭の手入れを行ったのであろう。なにしろ90を越えるご高齢、腰を痛めてそのまゝ病の床についてしまった。私も言い出したメンバーの一人として大変恐縮な思いをしたものだ。その後2年を経過して、先生も完全快復なされ、再度実行しようという事になった。先生にその由お伝えすると同時に、メンバーの中で造園業を営む谷川会員が密かに職人を出して庭を整理してくれ、酒、肴は会員がそれぞれ持ち寄り、上條会員の奥様と事務員がその仕度に駆けつけてくれた。まだ風の冷たい3月初旬、香り床しく七分咲きの白梅を肴にほとんど全員のメンバーが集いて、盃を交すことが出来た。絵書き一筋に生涯を過ごされた先生は、我々商売を業としている者達と違い、純粹無垢で言い方は悪いが、まるで子供のように無邪気なお人柄である。奥様共々泣きながらに嬉こんでくれたのが印象的であった。

2年越しで約束の果せた我々も満足であった。

古城江観先生、100才を越えて、いつまでも元気で絵を書き続けてほしい。



1980 - 81, 幹事時代の思い出 ロータリーは「愛」である

山 田 守



ロータリーは「愛」だと思います。

キリスト教の理念によれば、「愛は与えるもの」だといひます。しかし、それも時と場合により、相手にとって迷惑ともなりかねません。

「一利を施すより、一害をなす勿れ」の所以でもあります。

サービスのつもりで流す音楽も、度を越せば騒音以外の何物でもなかったり、親切のつもりで立てた看板も景観を害するものであったり、時と場合を一考する必要があるように思います。

ロータリークラブに限らず、他の場合にでもよくある例ですが「ゴミを捨てないようにしよう……〇〇クラブ」の立看板がよく見受けられます。社会への奉仕のつもりで行なっているのですが、街を美しくするどころか、えてして逆に、ゴミを作って立てているようなことになりかねません。

国際ロータリー75周年記念事業の一端として、当クラブでも何かをしようということになり、「街を美しく」するキャンペーンをすることになりました。しかし「街を美しくしよう」と書いた簡易な看板を100ヶ所に立てることは、むしろそれ自体がゴミになりかねないことから、金をかけても、1ヶ所にそれにふさわしいものを建てようということになり、国道16号をその候補地にあげたのです。

しかし、国道16号は、美観維持の点から当局から、新しく看板類を立てることは認めない（大変結構なことだ！）ということで、候補地に関して、市原市、市原警察署等と協議をした結果、市民会館の敷地に、交通安全に関するものにしてほしいとの要望があり、現在のものになったのです。

当初は、色は赤と紺だったのですが、赤い壁のガソリンスタンドが後から出来ましたので、黄色に塗り変えた次第です。

そのようなことをいい出した本人として、又、その設置者として、それが大きなゴミにならないよう、街の美観を害さないよう心掛けたつもりですが如何でしょうか。

ロータリーは愛であり、愛は与えるものでありますが、それが「害」にならないようにしたいものです。

幹事の思い出ではなく、幹事時代の思い出として述べてみました。

“会報”におもう

佐 藤 勇



私は、昭和52年7月20日に入会させてもらった。伝統あるロータリークラブに入会出来たことは、非常に大きな喜びであったが、何とも忙しい、大変な仕事のある所だろうとびっくりもさせられた。印刷業ということで、早速会報委員会所属となったがその時の会報委員は、私を入れて2名であった。例会の記録を毎週次の例会日まで整理をし、会報として印刷する役割であったが、二・三週を過ぎる頃から先輩委員が欠席勝ちになり、当然のことで私の代行が続くことになった。又その頃から先輩委員は、会社の仕事の都合で兎角欠席が多くなり、半年位で退会され、私一人が残ってしまい、会報担当は私一人の仕事として毎週整理と編集に追われる羽目になった。餅屋は餅屋というわけか、欠員の補充も大分後まで延びてしまい閉口したものである。

テープレコーダーを持ち込んで、卓話や行事、連絡事項を録音し、夜や日曜日に聞き乍ら整理するのに、入会間もない素人のこと、話の内容や用語の理解が乏しく、折角まとめたものの何のことやらさっぱり判らず、あちこちに電話をして説明を聞きに飛び廻った思いが、鮮やかに残っている。偶々岡野ガバナーの公式訪問があり、延々4時間に及ぶ委員会活動報告や講評を、テープで聞き乍ら忠実に整理して行ったら約1週間程かゝって便箋60枚程になり、この処理にはとほと困惑したことも今では大変懐しい。

会報は、そのクラブの年度の会長さんの性格をまことによく反映されると思う。そしてその記録は、クラブの歴史を伝えるものとして重要な資料となる。正確に、しかも楽しく読まれるよう心掛けると共に、会員各位の温かいご理解とご協力こそ大切と考えている。

今期は会報委員長として、印刷前には校正等で目を通させてもらっているが、ミスプリや見逃し、錯覚等で結構ご迷惑をおかけしているので、申し訳ないと思っている。会報が「快報」になっていつも全会員に読んで頂けたら幸甚である。

小さい私の軌跡

時 田 謙 祐



私は、1977年9月28日に海上信久氏の推薦により、市原ロータリークラブに入会し、名誉あるバッジと関係書類を頂戴して、市原R.Cのメンバーとなったのである。即ち1977～'78年の会長は菊地光明氏、幹事麻糴実氏の時代であった。

委員会は小出善三郎委員長所属の会員選考委員会で、加賀美宝富氏と私が委員であった。小出さんは年に似合わない童顔の美男子、「丸直」の社長さんで既に会長経験の豊富なロータリーアン。加賀美会員は歯科医師さんで多忙の故か、顔を出す機会が少なかった。この委員会活動は、所詮委員長一人であった。

マレーシア、ペタリングジャヤロータリークラブの来訪による歓迎会が、'78年3月24日千葉ニューパークホテルで盛大に開催された。民族的衣裳豊かな中にも、国際的雰囲気を一層高めたものであった。セレモニーやレセプションの一齣一齣の光景はカメラに収められているが、夫人同伴のあの和やかな雰囲気こそ国際理解を深めるかけ橋かと、入会6ヶ月目に味わったロータリーアンとしての幸せであった。

私は、前年タイ・マレーシアに慰霊の旅をして来たので、酒枝会員を通してペタリングジャヤの友に話しかけようとしたが、「あまりそのことにふれない方がいい」と言われたあのことをいまだに心に深くとめている。

4月12日の例会は、卓話「自己紹介」であった。貧弱な履歴を簡単に紹介その後で、「市原のルーツを探っている」ことに一言ふれ、これが生涯の研究となろうと述べた。菊地会長は、神話や歴史に造詣が深いのか、私の研究テーマである「海人族」について可成深い質問があった。そして「市原のルーツ」について話して見てはどうかーこれがきっかけとなって、三回にわたる卓話の機会を得たことを有難く思っている。

どうしても書いて置きたいことは、石川芳光会員との出会いのことである。'78～'79年度の所属は、出席委員会で石川芳光委員長、松井基浩副委員長、田久保会員と私が委員であった。石川会員は例会には、アロハシャツなどを着てラフな気持で出席していたようだ。「よく似合いますねー」と言葉をかけると「僕はね、水曜日は休日にしてロー

タリーを楽しみにしているんだよ…。他のことはしないんだ」とよく言われました。

その年の暮ごろから欠席がちになった。翌年の1月24日の理事会で石川会員の出席が免除されたと例会に報告があった。病気入院とのこと、今日まで何回かの手術を受けられたと先輩会員が語っていた。

初夏の或日、上條一日会長の例会に出席した私は驚いた。石川委員長が出席をとっているではないか。机の上に目を落とすとワインのグラスが置いてある。時折チビリチビリとグラスを傾けていた。「ご快癒おめでとうございます」「長い間ご迷惑かけました」ニッコリ微笑をたたえ、ワインを又チビリと口に運んだ。

実際石川委員長入院中は、松井副委員長が出席をとって呉れていた。その松井さんに休まれた時は田久保さんが代って呉れた。時には私一人でとらねばならぬことがあった。教えて貰ってはあったが、いざとなるとどうにもならない厄介ものであった。広瀬さんに泣きつく始末であった。

年度末の出席表をガバナー事務所に報告せねばならない例会日であったから、6月27日であったか、石川委員長が残ってその書類を整理していた。私は所用でどうしても帰えらねばならなかった。田久保さんも同じであった。確か松井さんは欠席であったと記憶している。病身の委員長に整理をさせて帰るのは実に後髪を引かれる思いであったが、止むを得なかった。その後、絶対安静、面会謝絶の再度入院なされたが、期待に反して、8月25日永眠されたのであった。

メイクアップの意味、貯金と称する出席貯蓄のことなどについての考え方は、オーソドックスな解釈で行くべきであると常に教えて呉れた。そんな或とき「私は神道だから家庭祭祀について、そのうち教えて貰らおうー」と言われた。その眼光の鋭るどさは、いまだに眼底深く焼きついている。今は亡き畏友の一人である。私のロータリーの友であった。

出席委員長となりその頃を懐しむ今日この頃である。

'80〜'81年は、齊藤博会長、山田守幹事で、R.I 75周年記念の年。市民会館の一角に交通安全塔を建立。除幕式の神事奉仕が出来たのは、私の成し得た職業奉仕の最大の誇だ。その後職業奉仕週間にちなんで、私まで感謝状を戴いたとは、何たる名誉のことか。

昨年と今年と2年にわたり年頭例会で「千支^{えと}について」卓話をさせていただいた。これは続けて行きたい一つである。

入会の頃、メイクアップに駆け廻ったあの師走の風は、今も身にしみついている。

市原ロータリークラブ20周年の歩みの中の、小さい私の軌跡である。

創 立 の こ ろ

石 福 優



昭和38年秋頃より、千葉ロータリークラブの元老である、杉本郁太郎、本部眞之、(故)花岡和夫、(故)伊藤恒太郎、(故)斎藤武の諸氏の間で市原ロータリークラブ創立の準備が進められ、その骨格が固まったのを機会に昭和39年6月中旬、五井の白山閣に於て下記のメンバーが召集され、初の会合が催されました。

(故) 浜田金平	原田義人	今村 博	石福 優	伊藤荒男
(故) 金子久義	川端文雄	川上一之	川上主一	切替尊文
小泉次郎	小泉圭一	古城江観	(故) 近藤喜久司	黒川 弘
(故) 宮吉長門	(故) 根本英司	(故) 野口謹爾	小熊禎一	小倉由太郎
酒枝次郎	関 萬夫	柴田健三	杉田 暁	鈴木雅博
鈴木康夫	田中常吉	(故) 時田普二	鳥谷部裕	鶴岡重彦
米田利司				

以上31名、千葉ロータリークラブ元老諸氏より、ロータリー精神及び綱領・細則その他運営について、詳細な説明をいただき、懇切なご指導のもと、役員を選出し、愈々発足の運びとなりました。

当時は第358地区に属し、埼玉、千葉、東京及び沖縄で分区が形成されていました。

ガバナー 神守源一郎氏 (東京・東)

特別代表 本部眞之氏 (千葉)

例 会 場 千葉相互銀行市原支店

¹⁹⁶⁴昭和39年6月22日(木)初の例会が行われました。特別代表の本部眞之氏が毎週出席され、ロータリークラブの例会のありかたの熱心なご指導に依り、ようやく会の運営も軌道に乗って来たかに思われました。

然し、年度内に種々の事情により退会者が続出、会長の宮吉氏は例会毎に、新会員の紹会を要請され、当時の高度成長の波に乗り、企業進出によって企業側の新会員も増え、また地元にもロータリー活動に対する理解が深まり、会員各位の努力によって今日の発展を

見るに至りました。

創立の年、小倉由太郎幹事が市議会議長に選出されました為、任期半ばで当時の副幹事でありました伊藤荒男氏が、ご多忙の中を2期名幹事として精力的に地盤を築かれました事は、感謝に堪えません。後、病を得られ退会されました事は、まことに残念です。

次に物故者のエピソードを、

(故)宮吉長門氏ー初代会長で抱擁力のある指導者、定刻前に終会の点鐘も幾度かありました。

(故)浜田金平氏ー哲学的な卓話で有名。

(故)近藤喜久司氏ー市議会議員に立候補の時、選挙運動よりも、ロータリー活動に専念され乍ら、最高点で当選、また卓話は得意中の得意、台湾情話で例会場が爆笑。

時の流れは早いもので早や創立20周年、チャーターメンバーも僅か5名となりました。

創立当時を思いますと隔世の感ですが、益々の発展を祈ります。

インターアクトクラブ年次大会の思い出

前京葉高校 I.C 顧問
現大原高等学校教頭

麻 生 峻 一

I.C活動で年次大会をホストすることは大きな行事と考えています。京葉高 I.C も昭和52年に創立10周年を迎え、地区の顧問会議で「今回は京葉高 I.C で」という発言が何回か出ました。そこで昭和53年5月にリーダー講習会をホストして資料を集めてみますと、運営上には規模の差こそあれ大きな問題は無く宿舎の確保ができれば可能だと判りました。そんな諸般の状況下昭和56年8月、第15回年次大会をホストしたわけです。この時の思い出を綴ってみたいと思います。

ホストの内示を受け R.C の I.C 委員長に経過を説明し、相談した時は少々不安でした。しかし数日後には「全面的に後援します。頑張ってください」という力強い返事が得られ、「思い出に残るよい大会にしなければ」という使命感が湧いてきました。準備は、前年度の大会に「ホストする気持で」参加することから始めました。ところが地理の不案内から部員の会場到着が半日近くも遅れ大切な開会式も見学できない。というハプニングがありました。しかし、この失敗をみごとに補って下さったのは R.C 会員でした。カメラとテープレコーダーで総てを記録してあったのです。この記録と報告書を手掛りに部員が知恵を

出し合い、R.Cの皆様の指導を受け、市原R.Cと京葉高I.Cとしてふさわしい特色ある年次大会にしようと、基本的な方針を立てました。以後何回か遅くまで議論した部会、R.Cの例会出席、実行委員会への参加、更には宿泊研修会まで行ってテーマの設定、会場、日程、講師の依頼、分科会の内容等を決めて行きました。テーマは「はぐくもう愛と奉仕と理解の心」と定め、記念講演は国際身体者障害年に因んで四街道養護学校の外立清子先生に依頼したところ、主旨に合った身障者実態に触れて感銘深い講演をして下さいました。分科会も日常活動を見つめ、その中から問題点と解決策を見い出そう、と意欲的な内容にしました。主会場は緑豊かな房総の自然に包まれた笠森保養センターに、副会場は臨海工場地帯の出光会館と市原市の地域性を出しました。300名に近い参加者の宿泊人数の掌握、これに基づく分宿と部屋割は大変な仕事でした。又大人数の食事、酷暑の中での弁当手配、会場移動時の輸送等々も各係の努力と関係業者の協力で行きました。出光会館で次期ホストクラブのR.C代表の引き受け挨拶があって無事大会が終了した。参加者全員、会場一杯に二重の輪を作り、手を取り合って声高らかに「手に手つないで」を唄った時は連帯感と成功の満足感で満されていた。バスで参加者を送り、ガランとした会場でR.C、I.C全員の記念撮影が終ると安堵感が胸中を走った。次回京葉高校I.Cがこの大会をホストするのは10余年後、歴史的な行事を今終らせたのかも知れないと思いました。

何はともあれ、この年次大会が好評のうちに終了できたことは麻糴会長、上條幹事、中村I.C委員長、斉藤直前会長、海上大会委員長、郡司実行委員長を中心として市原R.Cが組織をあげての後援と部員の献身的努力があつてのことと深く感謝しております。

終りに市原R.C創立20周年を心よりお慶び申し上げ、ますますのご発展と会員皆様のご多幸をお祈りして回想記と致します。

インターアクトの顧問として―雑感―

京葉高等学校I.C顧問 高 梨 美喜男

私が京葉高校インターアクト（以下I.Cと略す）の顧問となってから6年余になる。市原ロータリークラブ創立20周年の記念誌に、顧問として載せていただく文章としては、この間のI.Cの歩み、実践の記録といった内容のものとすべきであるのかも知れない。しかし、それは他の機会に譲り、ここでは、私自身が時おり書き付けているメモを紹介し、本

記念誌へ寄せる文としたい。というのは、活動の年代記もさることながら、一顧問としての感想メモも、I.C活動の一端を知っていただく上で、多いに役立つと思うからであり、公的な記録とは違った意味で、今後の活動に資するところがあるかも知れないと考えるからである。

I.C活動の2つの目標 奉仕と国際理解。

奉仕＝「小さな親切，大きな迷惑」と言うことばがある。単なる皮肉と考えるべきか。親切をする、奉仕をするということ、その仕方、内容、心構え、を考えたい。いや、大上段に振りかぶる必要はない、気のついたこと、今出来ることをして行けばよい？

国際理解＝外国のことを知る。外国の友人たちと交流をする。大切なことは、自分の国以外に、他の国が存在するということを肌で感ずること。そして、世界各国の関係は、必ずしも幸福な状態にはないということ。

ヒントとしてのひとつの実例＝フォークランド紛争の最中に開かれた、ロータリー国際大会で、英国に抗議する意味でアルゼンチン代表が出席をボイコットするだろうと思われたにもかかわらず、10人の代表全員が出席し、各国代表に拍手で迎えられたということ。

（第16回 I.C年次大会での齊藤任P.Gのお話より）

顧問として＝I.C会員（生徒）ひとりひとりの心に芽生えた奉仕への志、国際理解を深めようという気持ちを、どのようにしたら持続させ、生き方の問題まで高めさせることができるか？

教えてわかるものではない＝小さな行動の積み重ねの中で体得するもの。その行動はあくまで自主的であるべき。私の役割は、わずかなヒントを与えるだけ。私も学ぶ。

ロータリークラブ＝部外者として、しかし、ロータリーのお世話になっているI.C顧問としての感想。次代を担う青少年に対するR.Cの姿勢は一言で言えば、押し付けがましさがない、ということだ。あくまで青少年自身の力による成長に期待をかけている。セーブのきいた、しかし、暖い配慮には好感がもてる。卒直な感想である。

生徒たち＝I.C活動の中で様々なことをつかんで卒業して行く。社会福祉を自分のライフワークとして選択する者も多い。私としては、I.C活動を単なる高校時代の思い出として欲しくない。社会人となり、人の親となっても、この活動の理念は意味のあるものであるはずだ。

I.C活動を活発化するために＝部員が多ければ良いというものではない。しかし、I.Cの目標からしても、大きな輪を目指すべきでもある。従って、活動のPR。だが、これは活動を誇示するものではない。あくまでも理解を得、その上で賛同者を獲得するものだ。むしろ地道な活動を続けることこそ正道であろう。

以上、メモという性格上、多く舌足らずな面が見られると思うが、最初に書いた私の意をおくみとお願い。I.C理解の一助としていただきたい。

マレーシアの高校生を迎えて

'83～84 I.Aクラブ会長 三 枝 京 子

私たちインターアクトクラブの目的は「社会奉仕と国際交流」です。とくに今回は、国際交流というすばらしい体験をさせていただきました。その事について、少しお話ししたいと思います。12月18日から1月16日までの約1ヶ月間、マレーシアのお友達が日本にきました。外国人と接したことのない私達にとっては、とっても貴重な1ヶ月間でした。しかし今、ふり返ってみると、その貴重な1ヶ月間を、どれだけ充実させることが出来たのでしょうか？ はっきり言って私たち京葉インターアクトクラブは、マレーシアのお友達に何の思い出も作ってあげられなかったのではないのでしょうか。東京ディズニーランドや東京見物、鎌倉などに行きました。しかしそれも1ヶ月間のほんの何日かだけ、あとはみんなロータリークラブの方に、おまかせしてしまって……ぜんぜん高校生らしい交流が出来なかったような気がします。

考えてみると、勉強不足だった点がたくさんありました。留学生が来る事を知っていながら、英会話の練習をしようとか、マレーシアの国や習慣について調べようとか、そういう事にぜんぜん気が付かなかったのです。そして、もっと残念に思うのが、寝食を共にすることが一日もなかったことです。ほんのわずかな日数でもいいから、一緒に生活をすれ

ば、物の考え方の相違点など、お互いをもっと知ることが出来たのではないかと思います。

なんだか、反省ばかり残ってしまったようなそんな気がするのですが、これも一つの良い経験だと思います。この経験をもとに、もう一度「国際交流」と言うことについて、部員みんなで話し合いたいと思います。私にとっても、また部員みんなにとっても、とても良い体験になりました。このようなすばらしい機会を作ってくださって本当にありがとうございました。

太平洋を越えて

京葉高等学校 白 鳥 真 理

12月21日夜、黒い闇が太平洋を包んでしまった上を、スーツケースの中にも入りきれないほどの不安と期待を抱きながら、私たちはロサンジェルスへ向った。成田を立ってから9時間後、みごと太平洋を越えてカリフォルニアのロサンジェルスに着いたのです。いっぱいだった期待と不安は、カルフォルニアの空に笑い声となって舞い上がってゆきました。

アメリカというとすごく身近に感じる国ですがけれど、地球儀で見るとすごく遠いところにあるのです。そして、その間には青い海が、日本がいくつ入るとも知れない大きな海があるのです。私は、その海を越えたのです。こんなちっぽけな人間が……。

このごろ、ふとアメリカに行ってきたことが信じられなくなることがあるのです。“あの10日間は、ほんとうは夢だったんじゃないだろうか”と思ったりするのです。毎日、単調な生活のくり返し、決った通学路を歩き、同じ友達に会い、目的のわからない勉強をして……。あの10日間は、毎日が楽しくて、1秒1秒が、輝いていたような気がします。多分、私の瞳は、初めて見るいろんなものに好奇心いっぱい1万ドル以上に輝いていたのでは。

いくつ、どんなところに行ったのだろうか？ディズニーランド、レーザーワーク、ショッピング、マリンパーク、ユニバーサルスタディオ、ハリウッド、スケート、ボウリング、それにディスコ、Scottの家、DesiとWendiの家、それからRindaのところにも……。

何人の人と友達になることができたのかな、ダウニィ、ガーディナ、ハリウッドのインターアクトのみんな、ハマイさんの家のクリスマスパーティに集った人々、お世話になった家族のみなさん、……もう紹介しきれないくらい。

これだけ、いろんなことを覚えているのだから、夢であるはずがありません。でも、楽

しかった日々がどんどん遠い存在になっていくのは事実です。今は何かちょっとしたことにでも、アメリカのことを思い出したりしますが、いつか写真なしでは思い出すことができなくなる日がくるかもしれません。“どんな細いことでも鮮明に覚えておきたい！”そのために日記や、日本に帰ってから紀行文を書いたりもしました。けれど、思い出は思い出。ほんとうに大切なことは、もう、私の体の中にしっかりと打ちつけられているのです。

アメリカに行っていちばんの成果、それは日本を、自分の国を外から見ることができたことだと思います。私にとって、やはりいちばんいいところは“JAPAN”です。アメリカが、住みにくいとか、英語が話せないとか、そんな理由からではなく、私は日本人、日本の国を愛し、守ることのできるのは私たちだけ。そんなふうと考えられるようになりました。そして、この小さな島国の歴史も、あの狭い道路や小さな車も、山も川も、そこに住む人々も、もちろん自分も、やさしい目で見ることもできるのです。

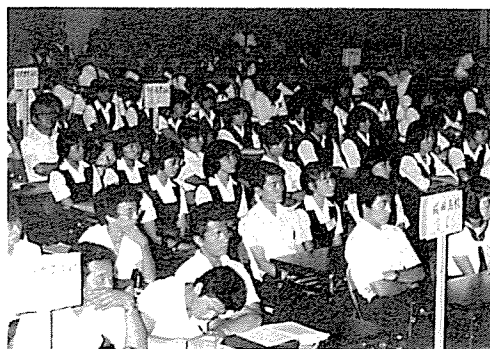
成果の2つ目、人間の善意、やさしさを信じることができたことです。アメリカ滞在中に4回ホストファミリーを変えましたけれど、どの家庭でもやさしく迎えてもらいました。自然な笑顔、自然なもてなし、人種なんか、国家なんか、そんなこと関係ないのです。人と人との交流には。だから私もできるだけやさしくならなければ。今、インターアクトの柱である奉仕、その心は“愛”ですね。人間のやさしさを感じたのは、実は出発前からなのです。いちばん、お世話をかけた父母の愛情の大きさ、出発の日、授業中なのに鶴を折ってくれたクラスの子どものやさしさ、私をいろいろと励ましてくれたロータリークラブのみなさんや先生方、親せきのみなさん、私はそんな大きな愛によってささえられているのです。そして、これからもその愛の和の中でいろんなことを経験して、勉強して、いつか愛を受け取る立場から、与える立場になりたいと思います。

海を越えた10日間でもそれは私にとって測り難い大きな大きな10日間でした。

(昭和55年3月卒)



55. 9 インターアクト年次大会
300名を超える出席者をむかえて
笠森保養センターにて



熱心に討論を続ける第3分区分インター
アクトーたち

1964～1984 クラブ沿革史

◆◆◆◆ 1964～'65年度 ◆◆◆◆

R.I 会長 チャールズ・W・ペテンデル

ターゲット ロータリーに生きよう

地区ガバナー 神 守 源 一 郎

市原 R.C 会長 宮 吉 長 門

市原 R.C 幹事 小 倉 由 太 郎

例 会 場 千葉相互銀行市原支店

例 会 日 木 曜 日

会 員 数 3 1 名

〔主な行事〕

- 1) 市原 R.C のバナーデザインを古城江観会員により決定
- 2) 各家庭の古物等68点を持ち寄り、市原市福祉事務所に届ける
- 3) 大島火災見舞金¥25,000をNHKに贈る
- 4) 3月27日、五井中学校講堂にて認証状伝達式挙行される

◆◆◆◆ 1965～'66年度 ◆◆◆◆

R.I 会長 C・P・H・ティーンストラ

ターゲット 1) 行 動

2) 強 化

3) 継続性

地区ガバナー 竹 田 恒 徳

市原 R.C 会長 浜 田 金 平

市原 R.C 幹事 関 萬 夫

例 会 場 旭 硝 子 千 葉 工 場

例 会 日 木 曜 日

会 員 数 4 3 名

〔主な行事〕

- 1) 交通安全協会へ道路横断黄旗寄贈
- 2) 市原保健所母子コーナーへ陳列棚寄贈

◆◆◆◆ 1966～'67年度 ◆◆◆◆

R.I 会長 リチャード・L・エバンス

ターゲット ロータリーでよりよい世界を

地区ガバナー 松 方 三 郎

市原 R.C 会長 浜 田 金 平

市原 R.C 幹事 関 萬 夫

例 会 場 旭 硝 子 千 葉 工 場

例 会 日 木 曜 日

会 員 数 4 3 名

〔主な行事〕

- 1) 市原郡市中学校英語弁論大会に寄附
- 2) 市原警察署に道路横断黄旗を寄贈

◆◆◆◆ 1967～'68年度 ◆◆◆◆

R.I 会長 ルーサー・ホッジ

ターゲット ロータリアンとしてあなたの資格を効果的に

地区ガバナー	川 名 正 義
市原 R.C 会長	小 倉 由 太 郎
市原 R.C 幹事	小 池 友 兄

例 会 場	旭 硝 子 千 葉 工 場
例 会 日	火 曜 日
会 員 数	4 9 名

〔主な行事〕

- 1) I C G F のホストクラブ
- 2) 京葉高校インターアクトクラブ結成

◆◆◆◆ 1968～'69年度 ◆◆◆◆

R.I 会長	栗 ケ 崎 潔
ターゲット	参 加 し 敢 行 し よ う

地区ガバナー	広 沢 輝 雄
市原 R.C 会長	切 替 尊 文
市原 R.C 幹事	石 福 優

例 会 場	出 光 会 館
例 会 日	火 曜 日
会 員 数	4 8 名

〔主な行事〕

- 1) 市原市ガールスカウト準備基金寄贈
- 2) 交通事故多発箇所にカーブミラー設置
- 3) 学校近辺の横断路に黄旗配布

◆◆◆◆ 1969～'70年度 ◆◆◆◆

R.I 会長 ジェームス・F・コンウェイ

ターゲット 再検討し・刷新しよう

地区ガバナー 森 田 勝 彦

市原 R.C 会長 酒 枝 次 郎

市原 R.C 幹事 小 出 善 三 郎

例 会 場 出 光 会 館

例 会 日 火 曜 日

会 員 数 5 2 名

〔主な行事〕

- 1) 交通事故処理車器具の寄贈
- 2) 安全運転のポスター，ステッカー配布
- 3) 県肢体不自由児協会に車椅子購入基金を寄贈

◆◆◆◆ 1970～'71年度 ◆◆◆◆

R.I 会長 ウィリアム・E・ラーク

ターゲット 隔りを取り除こう

地区ガバナー 河 野 秀 夫

市原 R.C 会長 関 萬 夫

市原 R.C 幹事 切 替 章 敬

例 会 場 姉 崎 ロ イ ヤ ル ホ テ ル

例 会 日 火 曜 日

会 員 数 5 7 名

〔主な行事〕

- 1) スコットランド研究グループ受入れ

2) 交通安全のカーブミラー設置

◆◆◆◆ 1971～'72年度 ◆◆◆◆

R.I 会長 アンスト。G. ブライトホルツ

ターゲット 今こそ行動のとき

地区ガバナー 青 山 幸 高

市原 R.C 会長 川 上 一 之

市原 R.C 幹事 齊 藤 博

例 会 場 姉崎ロイヤルホテル

例 会 日 火 曜 日

会 員 数 5 3 名

〔主な行事〕

- 1) 酒枝会員，分区代理に

◆◆◆◆ 1972～'73年度 ◆◆◆◆

R.I 会長 ロイ.ワ.ヒッタコン

ターゲット もう一度見直そう

地区ガバナー 半 田 利 一

市原 R.C 会長 石 福 優

市原 R.C 幹事 加賀美 宝 富

例 会 場 姉崎ロイヤルホテル

例 会 日 火 曜 日

会 員 数 4 7 名

〔主な行事〕

- 1) 市福祉事務所を通して車椅子 5 台寄贈

◆◆◆◆ 1973～'74年度 ◆◆◆◆

R.I 会長 ウィリアム・G・カーター

ターゲット 今こそ行動のとき

地区ガバナー	藤 代 善三郎
市原 R.C 会長	河 合 弘 海
市原 R.C 幹事	寺 嶋 昭 五

例 会 場	姉崎ロイヤルホテル
例 会 日	火 曜 日
会 員 数	48 名

〔主な行事〕

- 1) 市原市長を名誉会員にする
- 2) 10周年記念式典
- 3) 手をつなぐ親の会（精薄児施設）へ訓練器具の寄贈
- 4) 身体障害者福祉会へトランポリン等寄贈
- 5) 老人福祉センターへテレビ，放送施設等寄贈
- 6) 将棋の大山名人の卓話

◆◆◆◆ 1974～'75年度 ◆◆◆◆

R.I 会長 ロビンズ

ターゲット ロータリーの精神をふるい起せ

地区ガバナー	野 口 長太郎
市原 R.C 会長	小 出 善三郎
市原 R.C 幹事	稲 毛 正 一

例 会 場	姉崎ロイヤルホテル
例 会 日	火 曜 日
会 員 員	49 名

〔主な行事〕

- 1) マレーシアのペタリングジャヤ R.C と姉妹提携
- 2) オーストラリア英語研修旅行に、京葉高校秋山教師、生徒の高山さんを派遣

◆◆◆◆ 1975～'76年度 ◆◆◆◆

R.I 会長 エルネスト・I・デメロ

ターゲット 人間に威信を

地区ガバナー 岡 野 正 雄

市原 R.C 会長 切 替 章 敬

市原 R.C 幹事 外 山 定 利

例 会 場 姉崎ロイヤルホテル

例 会 日 火 曜 日

会 員 名 56 名

〔主な行事〕

- 1) 年会費10万円から13万円へ
- 2) 酒枝会員＝フィリピンのバターン地区へレントゲン車寄贈
- 3) 第3分区の I C G F ホストクラブ
- 4) 袖ヶ浦養護学校楨の実分校へ40万円寄附

◆◆◆◆ 1976～'77年度 ◆◆◆◆

R.I 会長 ロバート・A・マンチェスター

ターゲット 奉仕・ロータリーを私は信奉する

地区ガバナー 赤 木 諫 夫

市原 R.C 会長 石 川 芳 光

市原 R.C 幹事 金 坂 圭 章

例 会 場 姉崎ロイヤルホテル ポポロ五井ホール

例 会 日 火 曜 日 → 水 曜 日
会 員 数 5 9 名

〔主な行事〕

- 1) 小出善三郎会員，第3 分区代理に
- 2) 世界理解週間ホストクラブ
- 3) ペタリングジャヤ R.C 訪問
- 4) オーストラリア研修旅行に京葉高校の麻生教師と生徒 1 名派遣

◆◆◆◆ 1977 ～ '78 年度 ◆◆◆◆

R.I 会長 ジャック・デービス
ターゲット 全人類を結びつけるために

地区ガバナー	岩 城 長 保
市原 R.C 会長	菊 池 光 明
市原 R.C 幹事	麻 薙 実

例 会 場	姉崎ロイヤルホテル
例 会 日	火 曜 日
会 員 数	5 8 名

〔主な行事〕

- 1) I C G F ホストクラブ
- 2) ペタリングジャヤ R.C 来訪
- 3) 齊藤博会員，小出善三郎会員，地区財団委員に

◆◆◆◆ 1978 ～ '79 年度 ◆◆◆◆

R.I 会長 クレム・レヌーフ
ターゲット 手をさしのべよう

地区ガバナー	鈴 木 憲 輔
市原 R.C 会長	寺 嶋 昭 五
市原 R.C 幹事	清 水 良 平

例 会 場	姉崎ロイヤルホテル
例 会 日	水 曜 日
例 員 数	5 5 名

〔主な行事〕

- 1) 創設15周年記念家族親睦会
- 2) 齊藤博会員，昨年に続き地区の財団委員に
- 3) ロータリーソング「それでこそロータリー」を追加
- 4) 「職業奉仕事例集」を刊行
- 5) 防犯たれ幕25枚を警察署に寄贈
- 6) 小柴満信君，財団奨学生に合格

◆◆◆◆ 1979～'80年度 ◆◆◆◆

R.I 会長	ジェームス・L・ボーマー
ターゲット	奉仕の灯で道を照らそう

地区ガバナー	齊 藤 任
市原 R.C 会長	外 山 定 利
市原 R.C 幹事	三 木 敏 靖

例 会 場	姉崎ロイヤルホテル
例 会 日	水 曜 日
例 員 数	4 8 名

〔主な行事〕

- 1) 齊藤博会員，地区財団委員を。酒枝次郎会員，地区国際奉仕委員を
- 2) 年会費を16万円にする
- 3) 田中リディアさん（ボリビア），米山奨学生とし当クラブが世話をする

- 4) 榊原由利子さん, 財団奨学生合格
- 5) 528地区 (ロスアンゼルス) IC 歓迎会

◆◆◆◆ 1980 ～ '81 年度 ◆◆◆◆

R.I 会長 ロルフ・J・クラリッヒ

ターゲット 時間を捧げよう・奉仕のために

地区ガバナー 平 田 博 永

市原 R.C 会長 齊 藤 博

市原 R.C 幹事 山 田 守

例 会 場 姉崎ロイヤルホテル

例 会 日 水 曜 日

例 員 数 4 6 名

〔主な行事〕

- 1) R.I 75 周年記念交通安全塔建立
- 2) 粗食デーの廃止
- 3) 小出会員デザインにより、バナーの新規作り直し
- 4) 交換学生として、緑高校 2 年の田中孝至君を推薦
- 5) 米山奨学生として台湾の陳素郷さん

◆◆◆◆ 1981 ～ '82 年度 ◆◆◆◆

R.I 会長 スタンレー・E・マッキャフリー

ターゲット ロータリーを通して世界平和と理解を

地区ガバナー 寺 田 欣 一

市原 R.C 会長 麻 薙 実

市原 R.C 幹事 上 條 優 雄

例 会 場	姉 崎 ロ イ ヤ ル ホ テ ル
例 会 日	水 曜 日
会 員 数	5 2 名

〔主な行事〕

- 1) 交換学生、ターニヤ、マリヤ、シュロッサーさん（米国イリノイ州）来日
- 2) 年会費を18万円にする
- 3) インターアクト年次大会のスポンサークラブを務める
- 4) 「ふれあいとやすらぎの街」（他人に迷惑をかけない思いやりの心）
住民アンケート

◆◆◆◆ 1982～'83年度 ◆◆◆◆

R.I 会長 向 笠 広 次

ターゲット 人類は一つ．友情の橋をかけよう

地区 ガバナー	織 戸 勝 雄
市原 R.C 会長	海 上 信 久
市原 R.C 幹事	大 野 貢 治

例 会 場	姉 崎 ロ イ ヤ ル ホ テ ル
例 会 日	水 曜 日
会 員 数	5 1 名

〔主な行事〕

- 1) 姉妹クラブのペタリングジャヤ R.C を訪問
- 2) 県立市原養護学校への援助

◆◆◆◆ 1983～'84年度 ◆◆◆◆

R.I 会長 ウイリアム . E . スケルトン

ターゲット みんなにロータリーを．みんなに奉仕を

地区ガバナー	小 原 美 紀
市原 R.C 会長	田 丸 章
市原 R.C 幹事	夏 井 祐 輔

例 会 場	姉崎ロイヤルホテル
例 会 日	水 曜 日
会 員 数	5 6 名

〔 主な行事 〕

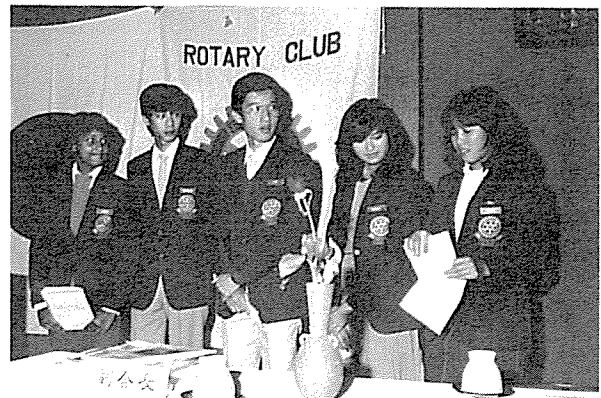
- 1) 創立 20 周年
- 2) 齊藤博会員，第 3 分区代理に



(上) '80.9.3 R.175周年
記念に建設された交
通安全塔除幕式風景

(下左) '83.6 姉妹クラブ、
ベタリングジャヤR.
Cを訪問した際、マ
レーシア高校生に奨
学金を贈る

(下右) '83.12~'84.1 ベタ
リングジャヤR.Cと
の青少年交換プログ
ラムの第1回として
来日したマレーシア
学生5名



— 活 躍 委 員 会 報 告 —

① インターアクト委員会

国際交流に多大の実績

1964. 6 当クラブは1964年創立後、京葉高等学校にインターアクトクラブの創設を
1966. 6 アプローチしたが、学校側は開校早々の理由により創設迄に至らなかった。
但し諮問委員会で準備は怠らずに勉強を進めた。
- 1966.12 具体的行動としては、近隣インターアクトクラブ認証状伝達式へ生徒同行による参加及びインターアクト年次大会へ参加し設立気運高揚を計った。
- 1967～8 1967年9月創立総会。10月認証状伝達式を行い、ついにインターアクトクラブは発足した。
- 1968～9 初年度としての事業は、インターアクトメンバー拡大と増強対策として、学校体育祭の後援及び学校文化祭の後援を行った。これは現在でも継続事業として引続いて行っている。
- 1969～70 1969年度に入りインターアクト活動も活発化してきて、資金調達の援助としてアルバイトの斡旋、廃品回収の援助を行い、又地区で実施した沖縄親善訪問に就いては6名を派遣し国際理解の一助となった。
- 1970～1 1970年度は、ロータリー精神の認識を深める事を主眼に、インターアクトクラブの例会出席及び奨学金制度による生徒への援助を行った。(奨学金1人月額2,000円)
- 1971～2 1971年度は、国際ロータリー第357地区インターアクト年次大会へ初参加し、インターアクトへの理解を深め、校内キャンペーンを行い、メンバー拡大を計った。
- 1972～3 1972年度は海外諸国高校生との文通について紹介し、又その斡旋を計り、インターアクトメンバーの視野を広めることに努力をした。
- 1973～4 1973年度は国際交流の場をインターアクトメンバーに持たせるべくR I第349地区主催のオーストラリア研修へ参加をさせ、又当市原ロータリークラブ10周年大会には、大いなる働きをしていただき、大会に花を添えた。

- 1974～5 1974年度は、前年に続き国際交流の場として西オーストラリア英語研修旅行へ顧問教師秋山、生徒高山の両名を参加させることができた。これは1977年度迄継続して行われた。
- 1975～6 1975年度は、インターアクトメンバーが減少し又女生徒のみとなり、活動が不活発となった為にメンバー拡大と男子生徒入会のキャンペーンを活動の重点目標とした。
- 1976～7 1976年度は京葉高校の市原校長がロータリークラブへ入会され、インターアクトクラブの活動に対し一層の理解が深まり活動が活発化した年であった。
- 1977～8 1977年度は、インターアクト活動も成熟期に入り、例年になく一段と活発な運動を展開した。全国高等学校海外教育研究千葉大会のホスト役として参加し、又オーストラリア第945地区インターアクト3名を受入れ盛大な歓迎を行った。
- 1978～9 1978年度はオーストラリア研修が取り止めの決定があり、インターアクトの柱である「奉仕」と「国際理解」の「場づくり」が無くなり、危惧していたが幸いに米国研修が決定し先生1名、生徒2名が出席でき、これが動機付けとなり、PTA会報にもインターアクトの活躍が紹介され一般生徒にも活動が認められるに至った。
- 1979～80 1979年度は、米国第528地区インターアクトの相互訪問国との交歓行事が開催され市原ロータリークラブも受入を行い、合宿交歓会等を実施し又その報告書である「交換行事を終えて」を編集発行した。
- 1980～81 1980年度は1981年8月に行われる第279地区インターアクト第15回年次大会に京葉高校がホストクラブに決定、又市原ロータリークラブがスポンサークラブに決定した為、その準備に全力を投入した。尚新会員拡大により総員28名となり県内インターアクトクラブでは屈指の大世帯となる。
- 1981～82 1981年度は、第279地区インターアクト第15回年次大会「はぐくもう愛と奉仕と理解の心」を大会テーマに8月27、28日に開催をし参加人員320名の大盛況で大成功の内に終了した。又8月2日～6日迄528地区から2人の米国生徒を受入国際交流に大いに役立った。
- 1982～3 1982年度は、シンガポールへ生徒1名派遣し又インターアクト全員参加による大島への研修を行い、対外的な活動を重点に行った。
- 1983～4 1983年度は当市原ロータリークラブ創立20周年に当る為、記念事業として

姉妹クラブであるマレーシア・ペタリングジャロータリークラブのインターアクトメンバー5名（男2名，女3名）を受入れ、12月18日から1月16日迄29日間の長きに亘ってお世話をし、本来の国際理解を肌で感じあうことができた。メンバーの白鳥、夏井、菊地、周郷、海上、宮吉の各氏が宿泊を支持大変なご苦勞をいただいた。



市原RC十周年記念（出光会館）
のお手伝いに、インターアクト
全員出席

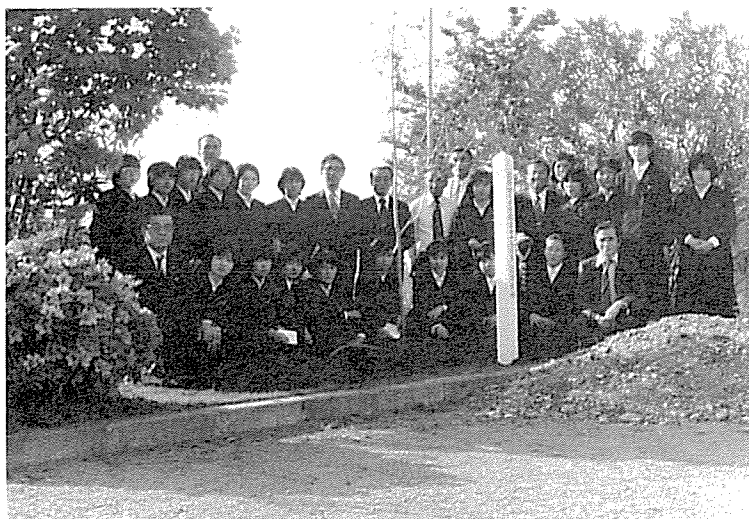
荒井会員を囲んで記念撮影



記念撮影を終えて
これからあとかたづけ



◀ R.I七十五周年記念事業として
市原老人ホームへ花水木を植樹



▶ 七十五周年記念植樹に、ホーム内の
清掃をかねて、京葉高校インターア
クター全員参加



▶ 昭和四十四年六月二十四日
於出光会館
創立五周年記念式典昼食風景

2 社会奉仕委員会

地域社会に密着した奉仕

1965. 12	歳末たすけあい運動に参加
1966. 12	
1966. 1	大島大火見舞
1966. 7	市原市ボーイスカウト海外派遣補助
1967. 7	
1966. 8	市原警察署白バイ取付警報器寄贈
1966. 9	京葉高校生徒へ奨学金支給
1967. 9	
1968. 12	市原老人ホーム慰問茶菓代寄付
1967. 9	
1967. 1	市原郡南総町及加茂村災害見舞
1967. 8	市原警察署に道路横断黄旗を寄贈
1968	
1967. 10	共同募金赤い羽根
1967. 11	市原保健所へ陳列棚を寄贈
1968	市原警察署に交通標識（安全塔）設置
1981	
1968	〃 事故多発地帯にカーブミラー設置
1972	市原市福祉事務所を通し車椅子の寄贈
1972	
1978	民間人の福祉功労者の表彰
1979	
1972	精薄児施設への訓練器具の寄贈
1972	身体障害者福祉会への寄贈
1972	老人福祉センターへの寄贈
1976	市原警察署員全員へ贈呈品を届け労をねぎらう
1977	市原刑務所内（交通刑務所）に「つぐないの碑」建立援助
1978	市防犯協会に防犯運動の「たれ幕」を寄贈
1979	五井小学校内特殊学級に教育用テレビ寄贈
1979	市立老人ホーム敷地内に植樹（インターアクト委員会と共同）
1980. 12	市内身障者中学生親子遠足
1981	ゴミゼロ運動発祥の地豊橋市を実施状況見学
1982	市原市の町内会の協力でアンケート調査「環境問題」「美しい街造り」
1983	市原養護学校前にバス停をつくる運動を展開及び資金寄付
1981. 5	ゴミゼロ運動への積極的参加
1983. 5	



③ 国際奉仕委員会

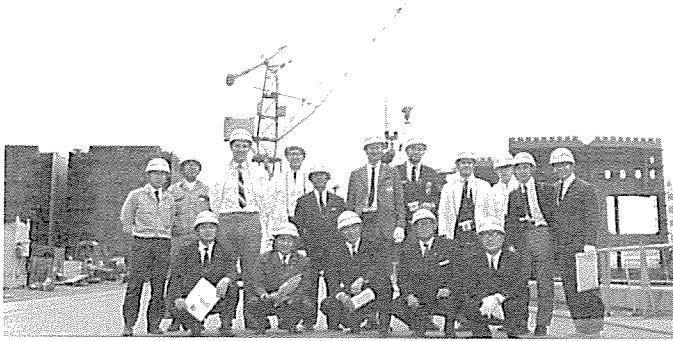
年々高まる P. J. R. C. との交流

1964～5	1964年度はクラブ発足の草創期であり、これからの市原ロータリークラブ国際奉仕活動は、どうあるべきかを模索し長期展望にたった計画と勉強会を重点とした。
1965～6	1965年度に具体的な行動開始を行い、千葉大留学生（東南ア諸国）を市原に招待し当地区の産業地帯見学と懇談会を実施し市原地区を理解してもらい、併せて親善交流を計った。
1966～7	1966年度は国際親善を深める計画実施として、当地区に一番多く入港した外国船ユニバースダフニ号に記念品贈呈を行った。又米国745号地区ニュージャージー州 Rodi に対しシスタークラブとして文通を開始した。
1967～8	1967年度は、昨年度に続き当地区最多入港のユニバースアポロ号へ記念品を贈呈した。尚シスタークラブ745地区 Rodi から返信が無い為、バナー交換も含め再度文通を試みた。
1968～9	1968年度は当地区最多入港をチャーチル号と決定し記念品を贈呈した。
1969～70	1969年度は、継続事業は5周年になる千葉大留学生（東南ア諸国）招待一本に絞って実施した。尚当日は当クラブのインターアクトメンバーも招待し相互理解と親善の実績をあげた。
1970～1	1970年度は、スコットランド研究グループ交換者の受入れを行い、4泊5日のお世話をし、三井造船、出光興産、東京電力火力発電所の見学を行った。宿泊には、関 萬夫、小出善三郎両会員が大変など苦勞をして下さった。
1971～2	1971年度は例年の如く東南アジアの千葉大留学生を招待し親睦を実施した。
1972～3	1972年度は卓話中心に事業を行った。1つは会員の石丸氏が京葉教育文化センターの外国人来訪者担当の理事の為、卓話を数回お願いし、又外国旅行の際該地のロータリーの会合へ出席バナー交換をした会員の卓話も実施した。
1973～4	1973年度は R. I 第709地区より G. S. E メンバーを3月に3名受入れ2泊3日間のお世話をし交流を深めた。尚当地区の工場見学も同時に行い、大変喜ばれた。又、この年は、石丸会員が第349地区ロータリー財団の教育補助金小委員会及び学友小委員会の両委員長として地区活動に大いに奉仕をした。
1974～5	1974年度は、国際親善の実践として始めて姉妹クラブ提携調査の為、マレ

- ーシャのペタリングジャヤを小出会長外5名で訪問、帰国後、同意書を送付し正式に姉妹クラブとなった。又同年インドネシア共和国元情報教育大臣夫人ル・マンビ夫人が当ロータリークラブを訪問しスピーチをいただき同国との親睦も深めた有意義な年であった。
- 1975～6 1975年度は前年姉妹クラブとなったペタリングジャヤクラブと文通交流をし、これを契機とし先方から要請のあった貧困児童用学校給食援助資金500ドル送金が実現した。
- 1976～7 1976年度は姉妹クラブ正式提携後初めてのペタリングジャヤ訪問を実施した。これは先方の正式招待に答えたもので、サルタン殿下との晩餐会もあり大変有意義な訪問となった。
- 1977～8 1977年度は大変活発に活動した年であった。まずペタリングジャヤのメンバー10名を受入れ、次にR.I東京大会のホームホスピタリティーを行った。ペタリングジャヤのメンバーは当クラブの家族親睦パーティに招待し又市原市長表敬訪問等を行い、市原ロータリーの所在を認識していただいた。次のR.I東京大会は、アメリカ、マレーシアのメンバー5人をホストし我々を入れ3国による世界大会のミニチュア版が展開された。
- 1978～9 1978年度は、前年の活動がアクティブであった為、ペタリングジャヤとの文通交流のみとし、次回訪問の計画をたてることで終った。
- 1979～80 1979年度は、特に世界奉仕プログラムの一環としての古切手蒐集運動に当クラブは279地区の代表として集計を依頼され積極的に協力した結果、地区内43クラブの賛同を得て、約350万枚という膨大な古切手を「日本キリスト教海外医療協力会」に発送できた。
- 1980～1 1980年度は、ペタリングジャヤに図書19冊寄贈、他はR.I留学生の情報確認に力を注いだ。
- 1981～2 1981年度は当クラブにとって初めての青少年交換を行った。当クラブより田中孝至君をアメリカイリノイ州レークホーレストに派遣し、受入はイリノイ州アンティオックからターニャ・シュロツサ嬢を受入れ国際理解と親善に努めた。特に受入については、ロータリアンの理解とホストファミリーの全面的協力が大きく貢献をした。
- 1982～3 1982年度はマレーシア、ペタリングジャヤR.Cを海上会長以下8名が6月に訪問し、短期交換学生に付いて協議し又市原R.C20周年記念式典への招待

を話しあい、極めて有意義な親善交歓ができた。

1983～4 1983年度は、インターアクト委員が計画した20周年記念事業の一環である
ペタリングジャヤR.Cからのインターアクト5名の受入に全面的に協力をした。



◀ '70～'71年度、スコットランド研究グループを受入れ、三井造船を見学。

▶ '76～'77（石川年度）に、姉妹クラブ、マレーシアのペタリングジャヤR.Cを訪問。
歓迎会開催さる。



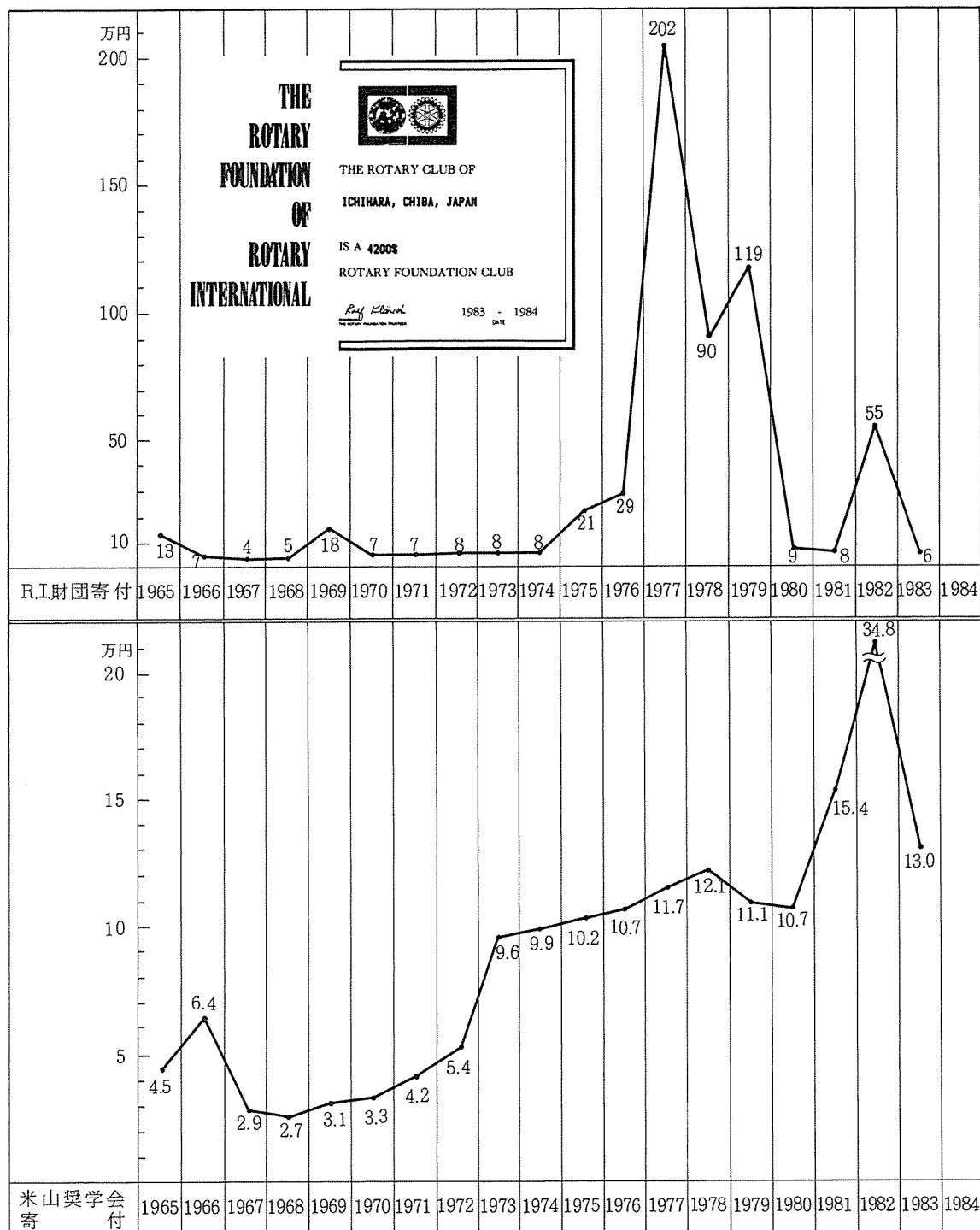
◀ 歓迎会宴席にて
市原R.Cメンバーの合唱

▶ 昭和47年、市原市の小学生より
絵を募集。これをブラジルの小学生宛に寄贈する。



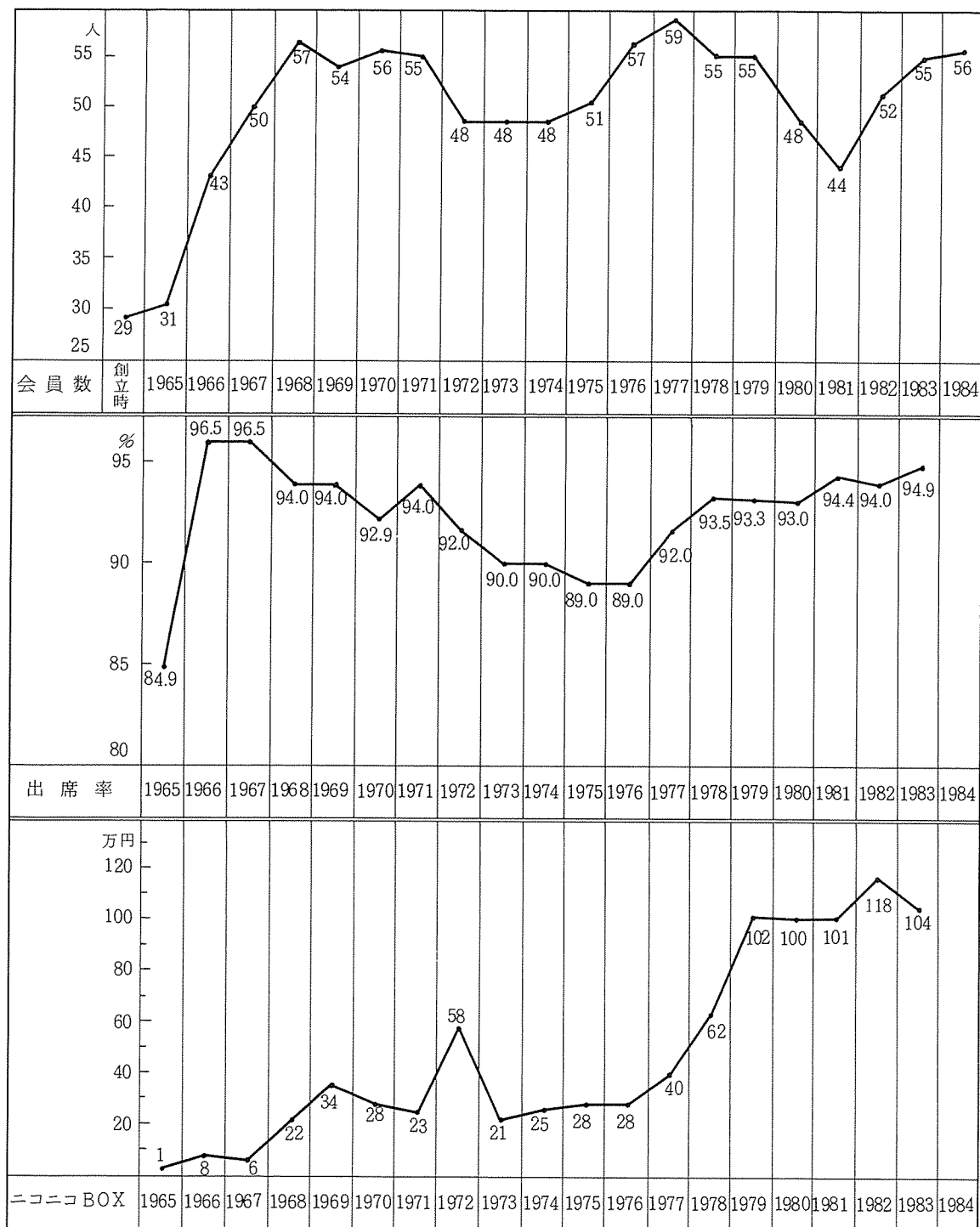
4 ローター財団 米山奨学会寄付

財団寄付 20年 4,300%



5 会員増強，出席，ニコニコBOX収入

出席，ニコニコ共に近年急成長



〔6〕 職業奉仕委員会

“創業は易く守成は難し、”

継続は力なりと申します。社訓、家訓がその礎です。

金持商人1枚起請文

もろもろの人々沙汰^{きた}し申さるるは、金溜^{しゆ}る人を運のある、我は運のなき杯^{など}と申すは、愚^{おろか}にして大なる誤なり。運と申す事は候はず。

金持にならんと思はば、酒宴遊興^{しゆえんゆうきようおど}奢^{おご}りを禁じ、長寿を心掛、始末第一に、商売を励むより外に仔細^{しさい}は候はず。此外に貧欲^{ひんよく}を思はば、先祖の憐^{あわれ}みにはずれ、天理にもれ候べし。始末^{しまつ}と吝^{しん}きの違いあり無智^{むち}の輩^{たぐひ}は同じ事と思ふべきか、吝^{しん}き光りは消えうせぬ。始末の光明満ぬれば、十万億土を照すべし。かく心得て行ひなさる身には、五万、十万の金の出来るは疑ひなし。但し運と申ことの候て、国の長者とも呼ばるる事は、一代にては成りがたし、二代三代もつづいて善人の生れ出る也。それを祈り候には、陰徳善事をなさんより全別儀候はず。滅後の子孫の奢^{おご}りを防んため、愚老の所存を書記し、おわんぬ。

文化乙丑正月 九十翁 中井良祐織男、光昌敬書

この文章は1983年4月25日に行われた職業奉仕委員長研修会の資料の一部です。「近江商人」の心掛け、心くばりはロータリーの職業奉仕精神の原点と同様です。この様に「家訓」は一族繁栄と継続の教本であり、「社訓」は企業成長の起爆剤であると言われております。世界ナンバーワン企業、米国IBMの躍進の秘密の一つには草創期の「社訓」にあったそうです。

今回市原ロータリークラブのメンバーにご依頼をし社是、社訓、家訓、方針、心構え等の標語を多くの方より提出していただきました。是非共参考に見習うべきところは見習い、自社、自家に取り入れ職業奉仕の理想を実践に移すことをおすすめ致します。又、目標無くして努力と成長は無いとも言われますので、この際社是、社訓、家訓の無いメンバーにはチャンスですので是非おつくりになる事を併せておすすめを致します。

職業奉仕委員会

委員長 藤 波 陽 四 郎

会員の社是・社訓・家訓・方針 心構え・モットー・標語と解説

◆ 株 式 会 社 丸 直 小 出 善三郎

「社 是」

— 企 業 の コ ン セ プ ト —

- 1. 誠 心 誠 意 くらしに夢をはこぶ
- 1. 公 平 無 私
- 1. 互 譲 互 助

§： 当社では、先代の父が昭和8年に個人営業（味噌醸造・酒類卸売・石油類販売）を開始してから、今年で創業50周年に当たります。家訓という特別のものはありませんでしたが、私が事業を承継してから2年目の昭和36年に、上記のような社是らしきものを発表した次第です。

まず第一に、商道の基本は「誠」以外の何ものでもないという考え方から誠心誠意と決めました。次に、社長をはじめ、社員にとっての最大の敵は「わがまま」ではないかということから、ものの判断基準を公平無私と決めました。第三に、当時、わが市原市へ出光興産が進出してくるといことで地元にとって大きな関心事でありました。私は人間尊重の事業経営という考え方に心服し、当時の書物を心の教科書として勉強させていただきました。たまたまその中に、和の精神を表現して、互譲互助という言葉がありましたので、そのまま三番目の社是とさせていただいたものです。

「くらしに夢をはこぶ」というコンセプトは、最近考え出したものですが、当社では、伝票、封筒、トラックの看板、広告物等には、いつも社名の上にこの言葉を冠しています。お客様に喜んでいただける商材を揃えて、大きく夢のある生活のお傳いをいたしましょうという職業奉仕の見地から、そうさせていただきました。

◆ 光 金 属 株 式 会 社

金 光 義 弘

「心構え」

頭を使って知恵を出せ

知恵の無い者は汗を出せ

知恵も汗も無い者は黙って去れ

§： 材木屋を営んでいる友人のを黙って拝借いたしました。

(少しでも世の為 人の為 価値ある生き方をしてみたい私の気持と一致しました。)

◆ 日 本 板 硝 子 株 式 会 社

六 條 和 男

「経営理念」

昭和51年 9月21日制定

事 業 は 人 な り

1. 信用を重んじ 確実を旨とする
2. 進取不屈の精神を養い 協力一致して事にあたる
3. 創意を発揚し 独自の技術を開拓する
4. 事業の社会的使命に徹し 国家社会に奉仕する

§： 1. 当社においては、大正7年11月22日の創業以来、多数先人の努力により、光輝ある伝統を継承し、独自の社風を形成してこれまで発展して来たのでありますが、社是、社訓又は経営理念については、明確な形でこれを制定してありませんでした。

2. 48年6月の経済環境の悪化と企業体質の脆弱さによる危機を克服するため、一連の体質改善策を実施しました。経営、組織、人事の各分野において、大巾な刷新が行われ、新しい社内体制が樹立されたのであります。

3. 経営の新局面を迎え、当社が新たな前進を開始するにあたり、経営理念を明確に定め、これを社内に周知徹底させる所以は、この経営理念を社内一同が日常の仕事を通じて、実践し、総力結集して、一路社業発展に邁進することが強く期待されているからであります。

◆ 日本合成ゴム株式会社 関 本 昭

「心構え」

積 極 果 敢

工 夫 と 努 力

切 磋 琢 磨

§： 当社は昭和51年から3 V運動というのを展開してきている。これは、
「高いVision の下に、旺盛なVitality をもって、
会社一丸となってVictory を勝ちとろう」

ということである。

この3つのVを合い言葉に30周年（昭和62年12月）を記念すべき輝かしい年にすべく、
新たな決意と覚悟の下に前進している。その中で勝本信之助会長の示した心構えが、
この言葉である。

◆ 株式会社 平 井 夏 井 祐 輔

「社 是」 1. 知恵を出せ、汗を流そう、強固なチームワークを作り永年に亘
り事業を発展させて行こう

2. 社業の発展と共に吾々の生活と社会的地位の向上を図ろう

3. お客様から信頼される商いで社会に貢献して行こう

「心構え」 1. ハイ と云う 素直な心

2. すみません という 反省の心

3. おかげさまで という 謙虚な心

4. させて戴きます という 奉仕の心

5. 有難うございます という 感謝の心

§：社是について

小企業ですので社員の収入と社会的なレベルアップを図りたいと願っている。残念
乍ら成績優秀な新高卒が集り難く、なお個人個々にプライドを持たせたいと思ってい
る。

◆ 木 更 津 信 用 金 庫

藤 波 陽四郎

「基本方針」

1. 地元中小企業と郡市民のみなさまの繁栄のために心から奉仕すること。
2. 何事もお客様の利益、満足を第一として郡市民のみなさまの繁栄のお手伝いをすること。
3. すべての従業員にとって、その一生を賭しても悔ゆるところのない、誇り得る職場たること。

§： 昭和3年木更津信用組合として発足し26年信用金庫法制定と同時に木更津信用金庫に組織変更し基本方針を決定した。

1つは郡市民のみなさま 2つは木更津信用金庫 3つは、すべての従業員が繁栄し幸になることを願ってつくられました。

尚社章も創立50周年を記念して3本柱が発展する様図案化されました。

◆ 住友化学工業株式会社

酒 井 学 児

「社 訓」

- ・わが住友の営業は信用を重んじ確實を旨とし、もってその鞏固隆盛を期すべし
- ・わが住友の営業は時勢の変遷、理財の得失を計り、弛張興廃することあるべしといえども、いやしくも浮利にはしり軽進するべからず

§： 江戸時代からの住友家の家法を基礎に、明治15年「家法」を制定し、さらに同24年「家法」と「家憲」とに分けられた際の「家法」のはじめに掲げられた条項である。のち「家法」は社則と改称され、財閥解体をへて住友化学の社則冒頭に営業の要旨として掲げられるところとなった。

◆ 東 京 電 力 株 式 会 社

山 中 太 郎

「方 針」

「業務運営の基本方針」

企業の体質改善

投資効率、資金効率の向上

サービスの向上

§： 当社経営基盤の確立時期にあたる昭和36～37年にかけて、当時の木川田社長は各役員をキャップとする12のチームを編成して全事業所を巡回させ、業務実態を総点検し、経営上の現実的な問題点のあらいだしをおこなった。そして、これにもとづき、いかにして長期に安定した経営をつづけていくかについて検討をかさねた結果、昭和37年2月に上記三大基本方針をうちだして、社内に周知徹底し、強力に実践をはかりつつ現在にいたっている。

◆ 周 郷 建 設 株 式 会 社 周 郷 正
「社 訓」

花も実もあり血もある涙もある
情誼に徹し 運命協同体で下記を遵守しよう

1. 果そう社会への奉仕
2. 磨こう知識と技術
3. 盡くそう創意と努力
4. 育てよう明るい職場
5. 担なおう明日の周郷建設

(昭和49年12月5日 作成)

§： 社訓の前文は陸士時代の校訓をもちったもの。
(その他に会歌も作っています。)

◆ 三 陽 工 業 株 式 会 社 佐 藤 勇
支店の「心構え」

事業は継続である
継続は総合力の発揚である

§： 事業又は商売を始めること自体は、条件さえ整っていれば誰でも始めることが出来る。しかし始めた事業は、継続することによってのみ本来の目的を満たし社会に貢献することが出来る。
継続する為には、少くとも

- 社員又は家族並びに株主に対し、報いなければならない
 - お客様又は社会に対し、お役立ち出来なければならない
 - 適切な利益を確保することが必須である
- と考えている。従って継続の為に全力傾注をして行く。

◆ 内山緑地建設株式会社 谷 川 市 蔵

「社 訓」

1. お互に信頼し尊重しあう信念のもとに、一致団結の力を発揮し、資本は人なりの経営に進む。
1. 一般社会の粹を抜き、整理しながら国民大衆につながる、近代的事業の経営に進む。
1. 至公至平の精神のもと実地に鍛錬したる力を正しく用い、実力ある技術者として商魂商才を捨て、緑地界向上発展に貢献せんとする経営方針を樹立する。

§： 初代社長方針をそのまま記載したものです。

昭和28年に株式会社と命名したので（当時にしてはめずらしく建設省が名付け親となり内山緑地建設株式会社となった）その時にかかげた方針です。

◆ 社名 千種興産株式会社 麻 薙 実
屋号 神 主

「社 訓」 誠 実

「家 訓」 和

§： 社訓は創立当時より不肖の名前を一字入れ、これを社訓とし今に至っている。
家訓は継承したが和なくして繁栄なしの和である。常日頃遵奉に努めている。

◆ 株式会社 第一 勸業 銀行 渡 辺 治

1. 当行の経営理念

- 国民に最高のサービスを提供する。
- 広く企業に豊富・良質な資金を供給する。
- ワールドバンクとして国際経済の発展に寄与する。
- 人間尊重の思想に基づき、魅力ある職場をつくる。

2. トップのモットー

各自の持場でベストを尽くし、新しい時代を切り開こう。

- §： 1. 昭和46年10月、合併により第一勸業銀行が新発足した際、国民的、国際的銀行を目指す新銀行の経営目標を明示したもの。なお、このとき、「ハート」のシンボルマークと、「心のふれあいを大切にします」のキャッチフレーズが生まれた。
2. 現会長および頭取が、昭和57年6月就任とともに行員に呼びかけた言葉。金融新時代に向けて、行員一人ひとりの自覚と能力発揮を求めている。

◆ 有限会社 イ シ フ ク 薬 局 石 福 優

「心構え」

一人のお客様に満足していただく

「一人のお客様を大切に」

- §： 一口に来店数をとなえても、お客様は一人一人の積み重ねである。

日々勉強して、お客様の質問、要望に充分応えられる様、商品知識を身につけ、またその折々の情報の伝達がスムーズに行われる様に努力する。

来店のお客様には満足感をもって帰っていただくことが次の来店につながることを日々強調している。

◆ 出 光 興 産 株 式 会 社

出 光 裕 治

「社 是」

「人間 尊重」の事業経営

§： 創業者 出光佐三は「人間尊重」の事業経営を社是として「金や組織、物を中心とする経営ではなく、人が中心の経営であるべき。」として創業以来事業を経営してきました。人間尊重とは、人権尊重ということでも甘やかすことでもなく、尊重に値する人間にお互いが成長し、尊重し合うということです。従って、人の育成を第一義と考え、社員は大家族の一員として、入社以来先輩の愛情をもって鍛練され育てられます。これは、人間尊重、大家族主義という日本の伝統的な考え方で事業をしているにすぎませんが、家族の中に対立思想がないのと同様に我が社にも出勤簿、定年制、餓首といった人を管理する考え方はなく、従って労働組合もありません。

◆ 西 松 建 設 株 式 会 社

永 井 賢一郎

千葉事業所のモットー

『常に安全に心掛け良い仕事をして

お客様に喜んで頂こう』

安全に対するスローガン

『親兄弟に対するような 温い思いやりと

心くばりを現場の隅々まで』

§： 建設業は、ほとんどの作業が屋外作業であり、作業は常に変化し危険が非常に多いため、人命尊重を第一に考えている。又、お客様のニーズにあう良い仕事をする事により次の仕事の受注につながり、受注量を拡大して行く。

◆ 株 式 会 社 千 葉 銀 行

久 保 克 巳

「心構え」

まごころのサービス

規律，協働，奉仕

§：。皆さまに愛される銀行は、やはり心あたたまるサービスが一番大切である。
。行内のモラルupとしては、愛社精神をつよくうち出している。

◆ 山 田 守 設 計 事 務 所 山 田 守

「心構え」 誠意，誠実

「モットー」 美しい街並みを！

「方 針」 つつましく

§：「心構え」 誠意，誠実

誠意を以てことに当たり、誠実に業務を遂行する。

「モットー」 美しい街並みを！

建築というものは、使用目的さえ満足していれば、それでよい、というものではありません。そこには必ず+αがあります。下手をしますと、それがマイナスになりかねませんが……。しかし、それは決して、金をかけるということではありません。家具を考える時はその部屋全体のことを、部屋を考える時はその建物全体のことをそして、建物を考える時はその街のことを考えて設計をする。

美しい街並みは、そこに生活する人々の心を豊かにします。

美しい街並みは、その国の文化レベルの高さを表わします。

我々は、日本の文化向上の一部を担っていることを忘れてはならない。

「方 針」 つつましく

イ) 主役は役者（そこに生活する人々，家具，花……）であり、建築は、彼等が演ずるための舞台である。そして、それらを引立つように控え目でなければならない。

ロ) 絵を壁にかけても、壁の方が目立つような壁を作ってはならない。

ハ) その建物がそこになかったら、景観として、おかしいような、自然な感じでありたい。

◆ 野 田 商 会

大 西 英 一

「心構え」

無 財 の 七 施

1. 目 の 施 し 優しい眼ざし
2. 顔 の 施 し やさしい笑顔
3. 言 葉 の 施 し 思いやりのある言葉
4. 心 の 施 し 感謝する心（ありがとうという気持）
5. 体 の 施 し 身体をつかう奉仕（汗する奉仕）
6. 席を譲る施し 長幼の序を弁える心（針の席に坐らせない
居心地をよくする心）
7. 一宿一飯の施し 分け与える暖かい心。愛。

§： 我が家の宗旨は浄土真宗（親鸞）ですが、小さい時から何べんも母親から口うつしで教えられた言葉です。最近浄土真宗に関係のある言葉かと調べて見ましたが、直接にはないようです。従って正確な字句も解りません。社是とか、家訓というようなものではありませんが、子どもの時から馴染んだ言葉です。

◆ 東 化 工 株 式 会 社

山 崎 邦 夫

「心構え」

貴方がいらっしゃる

そして 私がある。//

§： 私の存在はすべて皆様によって今日があるからである。私自身の無力で如何に小さな事かを常々認識して居ります。

◆ 大 宮 神 社

時 田 謙 祐

「座右銘」

「能うこそ神習はめ」 「日本書記」出典

§： 世の中の試練はすべて神のおはからいである。かなながらに清く明るく受けとめて一生習学につとむべきこと。「神意奉行^{（ふきよう）}」と解釈いたしまして座右銘（社訓）といたしております。

「経営理念」

会社一体となって“科学的合理主義と人道主義に基づく創造的な進歩と発展”を図り、社業の発展を通じて社会に貢献する。

「モットー」

精神を作興し、愛社心を高揚して、総力を結集しよう。

「事業成功の秘訣20ヶ条

㊤ 昭和11年鹿島守之助氏が発表したもの

- 第 1 条 「旧来の方法が一番いい」といふ考へを捨てよ
- 第 2 条 絶えず改良を試みよ、「出来ない」と云はずにやって見よ
- 第 3 条 有能なる指導者を作れ
- 第 4 条 人を作らぬ事業は亡ぶ
- 第 5 条 「どうなるか」を研究せよ
- 第 6 条 本を読む時間をもて
- 第 7 条 給料は高くせよ
- 第 8 条 よく働かせる人たれ
- 第 9 条 賞罰を明らかにせよ
- 第 10 条 なるべく機械を使ふこと
- 第 11 条 部下の協力一致を計れ
- 第 12 条 事業は大キサよりも釣合が肝心
- 第 13 条 何よりも先づ計画
- 第 14 条 新しい考へ、新しい方法の採用を怠るな
- 第 15 条 一人よがりは事を損ず
- 第 16 条 イエス・マンに取巻かるる勿れ
- 第 17 条 欠陥は改良せよ
- 第 18 条 人を怨まず突進せよ
- 第 19 条 ムダを見つける眼を開け
- 第 20 条 仕事を道楽にせよ

当社では毎年、年頭に当り社長、所長より当年の重点管理目標が文書で示されます。それを受けて製造所各部では従業員にその内容を消化してより具体的な指示を行ないます。

（特に社訓・社是と云うものではありません。しかし当然のことながら操業に当たっての、安全遵守、運転の効率化、従業員の和が三本柱として底流に定着しています。）

今回の発表は、昭和58年度（1983年）の製油所の製造部に於ける重点方針がどのようにして作られ、具体的に現在の運転に反映されているかを示してみます。

「1983年度 製造部 重点方針」

1. 事故をなくそう

- ・ K Y Kで 安全確認を！
- ・ 製品は自信をもって作り、
確実に出荷しよう！
- ・ 現場は我々の庭、きれいに、安全に！

2. 工夫で無駄をなくそう

- ・ 蒸気の無駄とフレアーロスを減らそう！
- ・ 自分達で出来ることは自分達の手で！

3. 職場間で気軽に話し合おう

- ・ “すみません” “ありがとう” の実行を！
- ・ 悩みはみんなで解決しよう！

1. 目標年度の前年12月に製造部各課（5課）に於いて、前記の三本柱である基本理念を基に、来るべき年に製造部で具体的に取るべき行動を、無作為にリストアップします。

2. これらの行動を判り易い言葉で書き直し、推敲をつづける。

3. 最終選考を課長、部長で行ない、大きな項目で2～3、小さな項目（より具体的なもの）を5～8にまとめる。

4. 年末迄に更に推敲を重ね、プリントし年初に全員に徹底する。

これらのステップを通じ管理者は自分の課で何をどのようにしなければならないかが自然と頭に入り身につく。

《 実 際 面 》

1. < 事故をなくそう >

- ・ 実際面ではまだまだ改善の余地はあるが毎朝“危険予知”の発声確認を行っている。
- ・ 定期的に少時間、各直できめられた場所の清掃を続けている。

2. < 工夫で無駄をなくそう >

- ・ 月間のフレアロスグラフに書き、その減少に努めている。
 - ・ 毎朝の会議、電話で蒸気の使用状況を全課で知り、その効率的な使用に心掛けている。
- (この行動により年間1～1.5億程度の削減ができた。)

◆ 姉 埜 神 社 海 上 信 久

「心構え」

他人に迷惑を掛けるな

「他人に迷惑を掛けるな」という言葉を長く生活信条としている。40数年前初年兵として入隊した内地の部隊では中隊長のその月の訓育方針が示され、その標語が営舎の入口に掲げられたその中の一つである。他の標語は記憶に無いが不思議にその語だけが強く印象づけられている。極めて簡明にして平易な語であるが内蔵する所は大きい。即ち個人としては倫理道德の基本であり、団体生活を維持して行く上の必須要件である。

これも20数年前の昔の事であるが或要件で某私立高校を訪問した際、偶々放課後の一教室で数人の生徒が正座させられ教師から説教されていたが、何気なく聴いたその教師の言葉が面白かった。曰く「この社会では家庭でも職場でも居なければ他の人達が困る存在価値の大きな部類に属する人間と、居ても居なくとも、良い人間と居ては困る人間と三種類ある。君達は現在第三の部類に入っている者である。存在価値は無くともせめて第二の部類に入れる様努力せよ」という内容であった。想うにこの生徒達は教室では授業の雰囲気을 乱し、校外では逸脱した言動によって学校の名誉を傷け、周囲の人達に多大の迷惑を掛けている輩と思われたが、20年後の現在この先生の教訓によって彼等が社会人として如何なる立場にあるかと想像している。

自ら意識して迷惑を掛けている事を楽しんでいる者は論外であるが、意識しない中で何気ない自分の言動によって周囲の人達の心を傷け、そのことを知らないままで一生を終ってしまうのが我々凡俗の常では無いだろうか。時間厳守と付記した通知による会合が約10

分遅れて開会される事があるが、この事が参会者にどれ程迷惑を掛けているかあまり意識しない主催者があり、車道に自転車をはみ出したまま買物をしている人は通行の車が迷惑している事は全く意識していない様である。

アイデア知事として有名だった千葉県の加納久朗さんの遺書の一部が当時新聞に発表されたが、その中で「私は他人様に迷惑を掛けずに生涯を終りたいと考えて来たが、若し私自身知らない中で御迷惑を掛けた事があったら御免なさい」という誠にユニークな加納さんの面目躍如たるものがあり、従来特別な関係は無かったがその時点から私の尊敬する一人になった。

自分一人の欠席によってクラブの出席率が下り、間接的にメンバーに迷惑を掛ける事になるという観点から努めて欠席の補填を行って行きたいと考えている。

◆ 柏 商 事 株 式 会 社 川 上 一 之

「家 訓」

「誠」 「人の師長たれ」

「社 訓」

- 1) 「誠」
- 2) 「夕に自己を反省し明日に良識を誓う」
- 3) 「敏速にして適格なる行動」

私の名が「一之」此れは「以一貫之」とも云い、亦「一」は「誠」ともいうと。

◆ 東 光 石 油 株 式 会 社 上 條 優 雄

「標 語」 トルジャー（T.R. J.A.E.R）

幣社には社訓等はない。最近になって「ベンチャー企業」という言葉が良く使われる。と同時に大手企業でマーチャンダイザーとかアドバイザーースタッフなる役職が新設されてきている。小規模企業の幣社では、こうしたポジションの人間を抱えることは出来ないが、社内では全員がマーチャンダイザーたれと厳命している。この基本理念を私なりに要約すれば、

Thinking（仕事を創造し、） Research（よく調査し、） Judgement（決断し

たら、) Action (実行する。) Examination (進行過程でチェックし、)
Responsibility (最後に 結果に責任を持つ。)

ということである。これを全部言うのが面倒なので、社内では“トルジャーで行こうヨ”とか“トルジャーの「J」がぬけてるヨ”などと合い言葉に使っている。横文字標語などはきざな限りであるが、社内の簡略語である。自己の創意工夫で仕事をしていないと、仕事がおもしろくなる。いわば仕事をエンジョイする方法である。

仕事を楽しんでいる人を「トルジャー」という。但し東光石油以外には絶対通じない英語である。



S58.5 ゴミ〇運動の一環で運動参加者に飲んでいただくために缶ジュース 2000 缶を市原市長へ寄贈する。



S56.7 青少年交換学生として来日したターニャ・シュロッサー嬢が市長を表敬訪問。記念に舞扇をプレゼントされる。



京葉高校 I.A クラブ主催によるめぐまれない子供達 (平和園) を招待してのクリスマスパーティ風景。毎年12月に開催されている。

7 ローターリー財団

◆ポールファリスフェロー

石 川 芳 光 (亡)	外 山 定 利
小 出 善三郎	麻 薙 実
荒 井 太 郎	石 福 優
切 替 章 敬	海 上 信 久
齊 藤 博	三 木 敏 靖
酒 枝 次 郎	藤 谷 実
(寺 嶋 昭 五)	田 丸 章
(菊 池 光 明)	大 西 英 一
古 川 善 次 (亡)	

◆準ポールファリスフェロー

(清 水 良 平)	上 條 優 雄
大 野 貢 治	(加賀美 宝 富)
(金 坂 圭 章)	夏 井 祐 輔

◆ロータリー財団派遣奨学生

○1980年6月～1981年6月

小 柴 満 信 昭和30年11月9日生
 アメリカ・ウィスコン州・ウィスコンシン大学留学
 マテリアルズ、サイエンス専攻
 現 在 日本合成ゴム(株)東京研究所勤務
 現住所 横浜市港北区新吉田町2647

○1982年6月～1983年6月

榊 原 由利子
 アメリカ・ペンシルバニア・ウェストチェスターカレッジ留学(教育学専攻)
 現 在 アメリカ ペンシルバニア・ウェストチェスターカレッジに於て大学院
 修士課程在学中

8 米山記念奨学制度

◆米山功労者

齊 藤 博

◆米山記念奨学生

- ポリビヤ国・田中リディア嬢（1979年～1980年）
- 台 湾・陳素郷 嬢（1980年～1981年）

9 青少年交換学生

◆1969年6月～7月派遣

上 條 友 久 昭和14年4月12日生

英国スコットランド地方、2ヶ月間地元101地区のロータリアンの家庭を宿泊しながら、同地方10ヶ所の都市の各種事業所を見学、国際交流を行なう。

現 在 富士石油㈱海外研修生室 審議役

現住所 千葉市北大宮台43の10

◆1981年～82年 青少年交換プログラム

- 受入 ターニヤ・シュロッサー嬢

アメリカ、イリノイ州、アンティオックより受入。市原R.C会員宅、及び一般家庭を順回宿泊しながら、県立緑高等学校にて勉学。

- 派遣 田 中 孝 至君

県立緑高等学校在学中、アメリカ、イリノイ州、レークホーレストへ派遣。

10 I.A 青少年交換学生

◆1976年12月

西オーストラリア、パース地区へ京葉高校 I.A クラブ員 1名と顧問教師麻生先生を派遣。

◆1978年 1 月

西オーストラリア・パース地区より 4 名の高校生を受入。

ダルロ・マン君 (チャーチランド高等学校)

キャロリン・キング嬢 (”)

グレイス・マーティン嬢 (”)

キャロリン・キング嬢 (”)

以上 4 名が市原滞在中は京葉高等学校 I.A クラブ生徒の家庭にてホストした。

◆1978年 1 月

オーストラリア・パース地区へ京葉高等学校 I.A クラブ会長、小出良重嬢を派遣。

◆1979年 1 月

ロスアンゼルスへ京葉高等学校 I.A クラブ員白鳥真理，大野明美の 2 名を派遣。

◆1979年 7 月

ロスアンゼルス of 高校生 5 名を受け入。前記、白鳥真理，大野明美を初めとする I.A クラブ員にてホストする。

◆1980年 1 月

ロスアンゼルスへ京葉高等学校 I.A クラブ員、関根真砂美，島川明美の 2 名を派遣。

◆1980年 7 月

ロスアンゼルス of 高校生 4 名を受け入。前記、関根真砂美，島川明美及び小沢希己江を初めとする I.A クラブ員にてホストする。

◆1982年 8 月

シンガポールへ京葉高等学校 I.A クラブ員、山本有美嬢を派遣。

11 姉妹クラブ

ペタリングジャヤロータリークラブ (P.J.R.C) 紹 介

姉妹関係協定書締結は1975年（昭和50年）6月10日

R.I 第349地区、市原 R.C 会長 小出善三郎

国際奉仕委員長 堀川仁七郎

R.I 第330地区 ペタリングジャヤ R.C

会長 ミッシェル・テー・クォーン・ヘン

国際奉仕委員長 ジョハリ・ビン・ジャーラム

の間に実施された。

以降、9年間におよび充実した国際親善交流を続けている。ここに姉妹クラブ P.J.R.C の概要を紹介する。

クラブ名	Rotary Club of Petaling Jaya Sistrict 330 of R.I	
住 所	PO. Box 63 Petaling Jaya Selangor, Malaysia	
例会場	Kelab Golf Negara Subang, Subang TEL. 760381 760388	
例会日	毎週火曜日 12:45～	
会員数	56名（但し1983.5月現在）	
創立	1960.6月19日	
認証状伝達	1961.1月6日	
83～84会長	ルパート・ゴールドマン	
幹事	リム・ホー・フェン	
ホストインターアクトクラブ	8校	2,000名
ホストローターアクトクラブ	1校	
姉妹クラブ	市原 R.C（日本） 泉佐野 R.C（日本）	

Ashfield R.C (オーストラリア)

ロータリー財団寄附 7500%

地区役員 6名(82~83)

ポールハリスフェロー 27名('83.5月現在)

準ポールハリスフェロー 34名('83.5月現在)

P.J.R.Cの位地

クアラルンプール(マレーシア首都)から11kmの所で、スバン国際空港からクアラルンプールに向う中間に位置している。クアラルンプールの衛星都市として発展してきたペタリングジャヤは軽工業地帯であり、又高級住宅街でもある。

マレーシア

旧マラヤ連邦の11州(西マレーシア)とボルネオ島の一部(東マレーシア)から成る連邦国家。

面積 329,747 km² (日本の約9割)

人口 14,344千人

人種 マレー人 47%, 中国人 32.7%
インド人 9.6%, その他

主産業 錫・ゴム・林業・パーム油・石油

輸入相手国 第一位 日本(24%)

輸出相手国 第一位 シンガポール(24%)

第二位 日本(22%)

国内総生産(GNP) 605億7千万マレーシアドル

(1マレーシアドル=約100円)

マレーシアの歴史

- 16世紀にポルトガル侵入。
- 17世紀にオランダ侵入。
- 18世紀にイギリス侵入。マレー全体を支配するイギリスの長い支配がつづき、その間イギリス人は己の経営する企業の主な担い手として、中国人やインド人を多数移入した。
- 15世紀より続く王朝制は現在も存続され、このサルタンの互選により国王が5年ごとに互選される。
- 現国王 アハマドシャー
- 現首相 マハティール・モハマド

公用語 マレー語

宗教 イスラム教, ヒンズー教, 仏教, 儒教, 道教

物故会員を偲ぶ

……………慎しんで故人の冥福を祈る……………

故 古 川 善 次

故 本 多 義 雄

故 石 川 芳 光

故 近 藤 喜久司

故 宮 吉 長 門

故 根 本 英 二

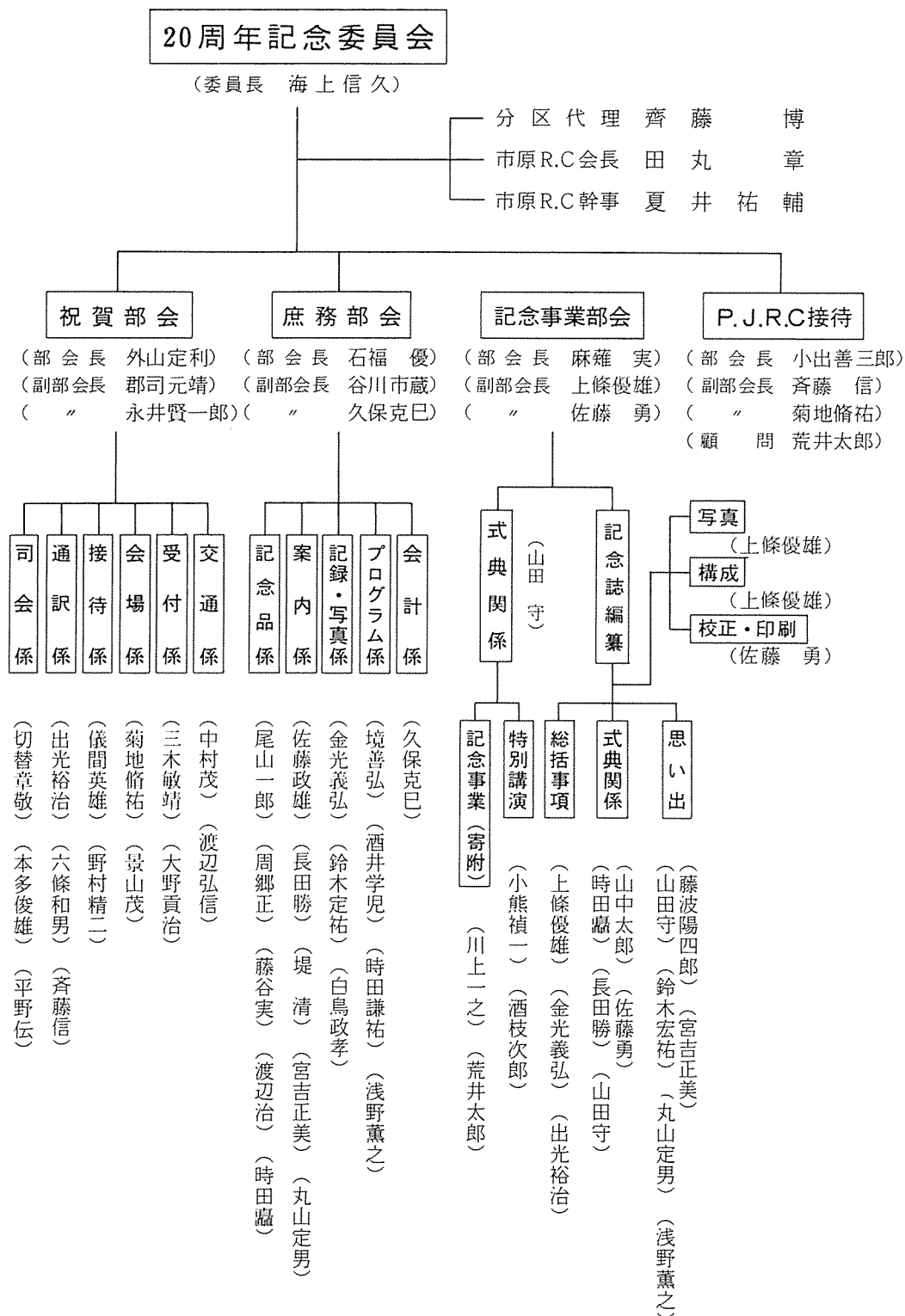
故 時 田 普 二

故 外 山 美 宝

現会員委員会所属一覧表(入会順・A B C順)

	年 度	入会年月	64 ～ 65	65 ～ 66	66 ～ 67	67 ～ 68	68 ～ 69	69 ～ 70	70 ～ 71	71 ～ 72	72 ～ 73
	ガ バ ナ ー		神守源一郎	竹田 恆徳	松方 三郎	川名 正義	広沢 輝雄	森田 勝彦	河野 秀夫	青山 幸高	半田 利一
1	㊤ 井原 恒治	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2	㊤ 古城 江親	39. 6. 22	雑誌(長)	雑誌(長)	広報	雑誌	会員選	雑誌	社会	広報	国際
3	石 福 優	39. 6. 12	親睦・広報	親睦・広報	出席(長)・IA	副幹事・ブログ	役・幹事	理・社会(仮)	IA(長)	理・副会長 クラブ(仮)	理・会長
4	川 上 一 之	39. 6. 12	雑誌・会員選	雑誌・会員選	会員増 会員選(長)	職業	職業分	会員選	理・職業(仮)	理・会長	R情報
5	小 熊 慎 一	39. 6. 12	国際・親睦(長)	国際・親睦(長)	会員増 社会・職業	職業(長)	ブログ	会員増	雑誌	会員選(長)	理・職業(仮)
6	酒 枝 次 郎	39. 6. 12	社会・広報(長)	社会・広報(長)	職業	職業	理・職業(仮)	理・会長	会員選・IA	ブログ	R情報
7	小 出 善三郎	40. 1. 1	—	—	国際・親睦	SAA・親睦(仮)	理・会員増(仮) 会員選(仮)	役・幹事	理・社会(仮)	R情報	出席(長)
8	切 替 章 敬	42. 4. 6	—	—	—	IA	親睦	SAA・IA(仮)	役・幹事	理・社会(仮)	出席
9	荒 井 太 郎	43. 1. 9	—	—	—	—	親睦	SAA(長)	会員増・国際	IA	理・親睦(仮)
10	齋 藤 博	43. 1. 9	—	—	—	—	IA・国際	親睦(長)	雑誌(長)	幹事	理・社会(仮)
11	麻 薙 実	45. 1. 20	—	—	—	—	—	親睦	社会	会報	—
12	外 山 定 利	45. 3. 1	—	—	—	—	—	SAA・社会	SAA・出席(仮)	SAA(仮)・親睦	—
13	三 木 敏 靖	48. 7. 3	—	—	—	—	—	—	—	—	—
14	上 條 優 雄	49. 8. 13	—	—	—	—	—	—	—	—	—
15	山 田 守 守	49. 8. 13	—	—	—	—	—	—	—	—	—
16	儀 間 英 雄	49. 9. 24	—	—	—	—	—	—	—	—	—
17	田 丸 章 章	49. 10. 8	—	—	—	—	—	—	—	—	—
18	境 善 弘	50. 8. 5	—	—	—	—	—	—	—	—	—
19	海 上 信 久	50. 11. 4	—	—	—	—	—	—	—	—	—
20	大 野 貞 治	51. 11. 24	—	—	—	—	—	—	—	—	—
21	大 西 英 一	52. 2. 2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
22	佐 藤 勇	52. 7. 20	—	—	—	—	—	—	—	—	—
23	中 村 茂	52. 9. 28	—	—	—	—	—	—	—	—	—
24	谷 川 市 蔵	52. 9. 28	—	—	—	—	—	—	—	—	—
25	時 田 謙 祐	52. 9. 28	—	—	—	—	—	—	—	—	—
26	山 崎 邦 夫	53. 5. 10	—	—	—	—	—	—	—	—	—
27	郡 司 元 靖	53. 7. 1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
28	夏 井 祐 輔	53. 7. 1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
29	周 郷 正	54. 11. 7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
30	藤 谷 実	55. 5. 21	—	—	—	—	—	—	—	—	—
31	齊 藤 信	55. 7. 16	—	—	—	—	—	—	—	—	—
32	平 野 伝	56. 6. 17	—	—	—	—	—	—	—	—	—
33	藤 波 陽四郎	56. 7. 1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
34	永 井 賢一郎	56. 7. 15	—	—	—	—	—	—	—	—	—
35	尾 山 一 郎	56. 8. 19	—	—	—	—	—	—	—	—	—
36	堤 清	56. 8. 19	—	—	—	—	—	—	—	—	—
37	山 中 太 郎	56. 8. 19	—	—	—	—	—	—	—	—	—
38	菊 地 脩 祐	56. 9. 30	—	—	—	—	—	—	—	—	—
39	白 鳥 政 孝	56. 9. 30	—	—	—	—	—	—	—	—	—
40	野 村 精 二	56. 11. 18	—	—	—	—	—	—	—	—	—
41	佐 藤 政 雄	57. 4. 28	—	—	—	—	—	—	—	—	—
42	森 憲 司	57. 7. 7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
43	渡 辺 治	57. 7. 21	—	—	—	—	—	—	—	—	—
44	酒 井 学 児	57. 8. 18	—	—	—	—	—	—	—	—	—
45	金 光 義 弘	57. 12. 1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
46	浅 野 薫 之	58. 1. 12	—	—	—	—	—	—	—	—	—
47	鈴 木 宏 祐	58. 1. 12	—	—	—	—	—	—	—	—	—
48	時 田 轟	58. 1. 12	—	—	—	—	—	—	—	—	—
49	丸 山 定 男	58. 1. 19	—	—	—	—	—	—	—	—	—
50	久 保 克 巳	58. 4. 13	—	—	—	—	—	—	—	—	—
51	関 本 昭	58. 6. 1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
52	本 多 俊 雄	58. 8. 17	—	—	—	—	—	—	—	—	—
53	景 山 茂	58. 8. 17	—	—	—	—	—	—	—	—	—
54	出 光 裕 治	58. 9. 7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
55	六 條 和 男	58. 9. 14	—	—	—	—	—	—	—	—	—
56	渡 辺 弘 信	58. 9. 14	—	—	—	—	—	—	—	—	—
57	富 吉 正 美	58. 10. 19	—	—	—	—	—	—	—	—	—
58	長 田 勝	58. 10. 19	—	—	—	—	—	—	—	—	—

20周年記念委員会組織図



20周年記念大会協賛会社

市原RC20周年記念に際し多額のご寄附をいただきました。ここに厚くお礼申し上げます。

(順不同・敬称略)

- ・ 木更津信用金庫五井支店
- ・ 鹿島建設株式会社姉崎出張所
- ・ 千葉相互銀行姉崎支店
- ・ 出光興産株式会社
- ・ 千葉銀行姉崎支店
- ・ 姉崎カントリークラブ
- ・ 西松建設株式会社東関東支店 千葉出張所
- ・ 株式会社吾嬬製鋼所 千葉製造所
- ・ 日本板硝子株式会社
- ・ 極東石油工業株式会社
- ・ 鹿島建設株式会社市原事務所
- ・ 住友化学工業株式会社 千葉製油所
- ・ 日本合成ゴム株式会社 千葉工場
- ・ 姉崎農業協同組合
- ・ 千葉三港運輸株式会社
- ・ 第一勧銀五井支店
- ・ 東京電力株式会社五井火力発電所
- ・ 東京電力株式会社姉崎火力発電所

編集後記

記念誌編纂にあたり、冒頭に印刷をお願いした三陽工業株式会社（佐藤勇会員）に深甚なる感謝を表したい。印刷にかけては全くの素人である編纂委員の我々が提出する原稿を限られた時間内に確実に処理され、記念式典までに完成されたご努力に対し、編纂担当者一同心よりお礼申し上げる次第である。

58年10月末に急きょ、式典当日発刊が決定され、暮、正月、年度末を含めた5ヶ月間、実質3ヶ月間で編纂、校正、印刷を完全消化すべく、人海戦術を取り多くの編纂委員を要してチームワークよろしく事にあたった。最初に20年間無秩序に集収された資料、書庫の整理から行った。30年、50年、100年と今後永久に続くであろう我ら市原RCの未来を思う時、これら資料の整理がいかに重要であるか。そして嘗ての歴史が現代にいかにかかされているかを痛感した。ついなおざりにされがちな会報記録委員会の記録の部に今後大きく期待したい。

20年の歴史は長い。資料をひもとく内に先輩ロータリアンが全身全霊を尽して奉仕の道を切り開いてきた事実にしばしば遭遇する。“こんなこともあったのか。” “この人達のおかげで今日があるのか。” 単に市原RC内部に留まらない。分区が、地区が、そしてRIが積み重ねてきた純粋なロータリー精神にふれた時、感動と敬愛の念を禁じえない。

ロータリーにノーはない。記念誌編纂を命じられるままにしぶしぶ行動を起した我々であるが、終ってみれば、実は我が知識を深め、我が信念を高める結果となっている。要した努力に比例して我が身に報われていることが痛感される。

ロータリーの歴史は重厚で重鎮だ。日々多忙をきわめる会員諸君に原稿を依頼し、又資料の整理をお願いすることは大変な負担であると思われるが、締め切り期日を全員が厳守下され、又多方面に渡り諸事くばりを尽してくれた段、深く感謝申し上げる。そしてチームワークよろしく一糸乱れぬ行動を取って下さった編纂委員の方々、共にお互の健闘を称え合いたい。ますますロータリーが好きになりそうだ。そこに真に信じあえる友情を感じるから。

末筆ながら、読まれる方々に不十分な記念誌であることをお詫び申し上げます。時間と資料不足により、我々が当初企画した計画の70パーセントも消化出来なかった。

しかしながらまがりなりにも記念誌を完成させ、後世に続くロータリアン諸君、関係者一同に、先輩諸兄が何を考え、何を実行してきたかを幾分でも伝える事が出来たことを光栄と思う。

編纂者一同

創立二十周年記念誌
善意と友情
二十年のわだち

発行日 昭和59年4月11日
発行者 市原ロータリークラブ
〒299-01 市原市姉崎584
姉崎ロイヤルホテル内
編纂者 二十周年記念事業部会
部会長 麻 薙 実
副会長 上 條 優 雄
" 佐 藤 勇
印刷所 三陽工業株式会社市原支店
〒290 市原市五井5510-1